

PERSPIRATION



2009 年度

茨城大学陸上競技部 部誌

第 4 号

目 次

I. 2009 年度シーズンを振り返って	1
II. 2009 年度活動報告	4
i) 大会後記	5
関東インカレ／千葉対校／関東甲信越体育大会／日本インカレ／国公立 22 大学対校／ 北関東五大学対校／国公立 22 大学対校駅伝／三浜駅伝／荒川駅伝／勝田全国マラソン	
ii) その他競技会	14
茨城県選手権／関東選手権／その他	
iii) その他の活動	15
協力審判員／宇都宮大学合同合宿	
III. 2010 年度シーズンの抱負	16
IV. 2010 年度活動予定	19
V. 卒業・修了生より	19
VI. OB/OG 近況報告・現役部員へのメッセージ	27
VII. 記録集	31
茨城大学記録・男子／茨城大学記録・女子／2009 年度ランキング／対校戦順位一覧	
VIII. 部員名簿	35
編集後記・連絡先	36

I. 2009 年度シーズンを振り返って

主将反省

前主将 後藤雅彦

「食欲茨城大学」のスローガンの下、運営をしていきました。目標を抽象的におくことで、解釈の幅が広がり、色々な可能性が生まれると信じて行ってきました。概ね、スローガンに恥じることがない活躍をすることができましたが、惜しい事柄が多かったです。もっとこうしておけば、ああしておけば・・・などの思いがあります。食欲であるがそのジレンマがあった年でした。

このような気持ちを次の代に引き継がせないために、主将の役目を終わった私の責務は、自分のできることを着実にこなすことです。経験を下の代に伝えたり、チームの足りない点を見つけたりなど、1%の現状を満足しない食欲を残し、99%やりきることが、4年生になる私の役割で、チームのために果たしていきたいと思います。

最後に、私を支えてくださった皆さん、本当にありがとうございます。

主務反省

前主務 鈴木麻里

2009 シーズンは、主務として充実した日々を送ることが出来ました。データの入力作業が多くパソコンと向かい合う日々でしたが、部員とコミュニケーションをとる機会も増えましたし、他大学の主務や学連の方々と交流することで、競技面においても大きなプラスになったと感じています。

主催した千葉対校は、先生方や部員・OB・OGの方々をはじめ、茨城陸協の先生方や補助員の高校生など、多くの方々の協力を得て大会を無事に運営することができました。この場をお借りしてご協力いただいた全ての方々にお礼申し上げます。2010 年度も千葉対校を主催することが決まっておりますので、昨年度以上に御支援いただければ幸いです。

早いもので、大学での競技生活も残り1年となりました。後輩達のために、茨城大学陸上競技部のために、今までの経験を生かしていければと思います。

短距離ブロック長の反省

前短距離ブロック長 和田和幸

短距離ブロック長になってからめぐるしい程のスピードで時が過ぎるのを感じました。競技者としての側面で陸上競技を眺めてきたことが多かったですが、ブロック長としての1年間は舞台裏から陸上競技を眺めたようでした。新しい考え方、見方、行動、方法等々どれも新しく触れるものが多くて新鮮で、そこには陸上競技だけではない人間として、集団として、組織としていかに行動するかを問うているような要素が入っていました(常識も含めて)。「競技力だけが長けていても強い選手ではない」この言葉を一段深く知ることが出来たように思います。

日々の練習をグイグイ引っ張っていく事に意識が行き過ぎたせいか、ブロックを一つにまとめる作業を見過ごしていたことが大きな反省点です。ブロックを一つにまとめる作業というのは、1年生から4年生まで意識の方向を1つに定める事、雰囲気高める事等が上げられていくわけですが、それらを下にたどっていくと結論として和田はコミュニケーションをとる事が不足しており、またそれを活発に行えるような環境を整えてなかったということです。練習に一生懸命取り組む事は大前提ですが、その根底において普段の人対人の関わり合いが大きく影響を及ぼしている事に後々気づきました。今年の短距離ブロックが大人しかったような印象をもったのはここから来ているのかと思います。

皆様が部誌をお手元に置く頃にはシーズンが始まっていると思います。純粋に昨シーズンの結果を越えるパフォーマンスをする事は大前提の目標として、上で述べたコミュニケーションにも注意を払い毎日を通り過ぎていきます。皆さん1年間ありがとうございました。今シーズンも頑張りましょう。特に新4年生は4年生の風格をどんどん出して。

中長距離ブロックの反省

前中長距離ブロック長 和田明久

21 年度の中長男子を振り返ると、対校戦、県選手権で合計 19 個の入賞、茨大新が 3 つ、自己ベストが 14 人中 10 人と、トラックでは一定の成果があったと思います。しかし駅伝ではここ数年で最悪の結果となり、来シーズンへと大きな課題を残す形になってしまいました。個々を見てみても大きな怪我も少なく、練習に対する姿勢も変わってき

ていたと思うのですが、そこからのあと数歩、十数歩が出ずに自己満足に近い活動になってしまったところもありました。また、ブロック長である私自身が怪我での離脱が多く、チームをまとめることができなかつたことも駅伝の結果などに響いてしまったと思います。

来シーズンももうすぐそこまで来ていますが、シーズンに入る前にもう一度考えなければならぬことが中長にはあると思います。人数も大幅に減ってしましますが、だからこそできることもあると思います。今年度できなかったことは来年度に、「持ち越し」と言う聞こえは悪いかもしれませんが、そうやってこの中長距離ブロックを少しずつでも成長させていきたいです。

何かと力不足な私でしたが、皆さんの支えもあり何とか1年を終えることができました。ありがとうございました。余談ですが中長男子は鎌をかけると奮起してくれる人が多いので、これからは少し違った形でこのブロックを盛り上げていきたいです。

中長女子パート長の反省

前中長女子パート長 石澤ゆかり

昨年度は、中長女子は2人という少ない人数で活動してきました。その中でもお互いに目標を持ち、それぞれの課題に向けて練習し、刺激し合って練習してきました。対校戦では人数からすると不利な状況ではありましたが、それでもしっかり上位に立って得点を取ることができました。また、駅伝は22大学対校戦の一試合しか出場することができませんでしたが、他ブロックの先輩方・後輩たちの協力によって対校の部として出場できました。結果は入賞まであと一歩のところでしたが、駅伝を中長距離だけではなく全ブロックの力で出場できたという実感がとてもしました。2人で中長女子の存在をしっかりとアピールできた一年だったと思います。

そして今年は私が中長女子の最後の一人となってしまいそうでしたが、4月から念願の中長女子の新入生が入部してきます。実力もやる気も十分な後輩なので、若いパワーに負けないように、また時にはパワーをもらいながら切磋琢磨していこうと思います。今年度も応援よろしくをお願いします。

跳躍ブロックの反省

前跳躍ブロック長 渡邊学

今年度の跳躍ブロックは男子3名・女子2名の新入生が加わり、計11名での活動となりました。とくに男子、そして棒高跳を専門とする選手の入部により、跳躍種目への関心の広がり、なによりブロック内だけでなく部全体への活力に大きく影響を与えたのではないのでしょうか。

結果としては、メンバーが自己ベストの更新、また日本選手権など全国レベルの大会での入賞を果たすことができました。特に女子は対校戦において例年にも増して競技力を発揮し、チームの支えとなりました。しかし、その反面で、怪我や体調不良の多い年でもありました。そのため、全員で一緒に練習をする時間が多くはなかったという印象も受けます。それに関しては、ブロック内でもっと交流を図り、お互いがサポートしあえるような環境作りが必要であったと感じました。私自身、消極的になってしまったことが1番の反省点です。

現在は新体制となり、若さみなぎり、また新鮮な気持ちで日々練習しています。「全カレ・関カレ標準を切る、茨城大学をポール王国にしたい・・・」各々が闘志を燃やしているなかで、今後も楽しく明るく元気よく全員で頑張っていきます。最後になりましたが、1年間メンバーに支えてもらったことに感謝しています。ありがとうございました。

投擲ブロックの反省

前投敵ブロック長 弓削真理子

周囲から心配されながらも、投擲ブロックを二見先輩から受け継ぎ、未熟ながらも1年間ブロック長を務めさせていただきました。私自身、ブロック長をさせていただき大きく成長できた1年でした。

今シーズンの投擲ブロックは二見、弓削、城所に加え、長身の「鈴木」と待望の男子「ホアン」という2名の新入部員を迎え、計5名で活動してきました。チームの目標である「食欲」という目標のもと、自己ベスト、各自掲げた目標を達成するために一丸となって高い意識を持って取り組んでまいりました。

今年度の良かった点として、メンバーが増えたこと、自己ベストを2名更新できたこと、茨大記録を2種目更新できたこと、関カレで3名の入賞者を出せたこと、対校戦では得点源としてチームに貢献できたことや男子投擲種目で点数がとれるようになったこと、22大学対校戦で優秀選手賞をブロックのメンバーから出せたこと、各々が高いモ

チベーション熱く試合に臨めたことは大きな成果であったと思います。お互いを刺激し合い、楽しさの中にも時に厳しく、Young&Enjoy&Powerfulな「Y・E・P」スローガンで取り組んできたことで結束も高まり、更に成長できたブロックになったのではないかと思います。

しかしながら、全員自己ベストの目標が達成できなかったこと、ケガや体調を崩す者があったことは、大きな反省としてあげられます。ブロック員が最高のコンディションで全力を果たせるようブロック長として呼びかけやサポートはして参りましたが、まだまだ私の勉強不足であったとも感じます。11月でホアンにブロック長を引き継ぎましたが、私自身今後も若者達に刺激を与えられる存在となりたいと思います。そしてブロック皆、無病息災で心身ともに満足のいくコンディションで試合に臨むためにも、さらに切磋琢磨し、つらい鍛錬期を耐え抜き強靱な肉体を手に入れていきたいと思っています。肉食系男女として今後も食欲に健康に取り組んで参りたいと思います。

最近では週に1度の食練(TOK)などでの機会を設け、コミュニケーションを取れるイベントも作りました。部活外での日常からもより良い関係を作っていきたいと考えています。鍛錬期に入り「辻」という女子部員が投擲に加わってくれました。来シーズンも新入生がたくさん入ることを期待し、投擲ブロックを皆で盛り上げて全員が活躍して自己ベストを出せる年になるよう、飛躍の1年にしたいと思っています。

今年も1年間ご支援ありがとうございました。応援支えになって下さるOB・OGの皆様、先生方、茨大陸上競技部員に日頃の感謝として朗報できるよう精進してまいります。今後も投擲ブロックをよろしく願います。拙い文章ですが反省とさせていただきます。

ハードルパート長の反省

前ハードルパート長 上杉明弘

「自分はハードルパート長として何をしたらだろうか」こう振り返ってみると、行なったことは少ないと感じます。メニューを作っていた訳でもないし、競技場練の時にはそれぞれ分かれて各自で練習していたし。どちらかといえば存在感のないパート長だった気がします。もっとやれることがあった、と反省しています。そんなパート長でしたが、気をつけていたことが2つあります。

一つ目は、「ハードルパート全員がケガをしないように気を配る」です。シーズンが始まって本格的にハードル練をしたり、試合が続いたりすると疲労が溜まります。そのため、体調の確認だけは欠かさないようにしよう、そう心がけていました。その心がけでしっかり貢献出来たかどうかはわかりませんが、ハードルパート全員が大きなケガなくシーズンを終えられて一安心です。

もう一つが、「試合ではプライドをもって」です。ハードルパートは、パートではありますが人数も多く、個人のレベルも高いと考えています。ですから、試合に出たときにはどのブロックよりも点数を取るんだ！というプライドをもって臨んでほしいと願っていました。目標点数の設定や、試合中の鼓舞、自分の走りでハードルパートが活気づき、それがほかのブロックにも伝われば良いと考えていました。パート長である自分がもう少し引張るような走りができればもっと良かった、というのが反省です。

今後は、ハードルパート長経験者として、ハードル競技者として新パート長の力になっていきたいと思っています。

マネージャーブロックの反省

マネージャーブロック長 荻生めぐみ

今年度は新たに2人の新入部員が加わり、5人で活動してきました。昨年までは少ない人数でできる範囲の仕事をしてきたので、初めは+αでどんな仕事をすればいいのかわからず、戸惑うことが多かったです。しかし、一人ひとりが今できる仕事を考えて動くことによって、以前よりサポートの幅が広がりました。また余裕をもって仕事ができるようになったので、ミスも少なくできたと思います。

ブロック長としては、課題が残る1年間でした。マネージャーの仕事もままならない状態でブロック長を引き継いだので、初めは戸惑ってばかりでした。とにかく今までよりサポートの質を落とさないようにしようと思いましたが、それが逆にプレッシャーになって、1人で抱え込んでしまい、周りに迷惑をかけてしまうことが多かったように思います。よりよいサポートを提供して部活動を盛り上げていく立場でありながら、逆に迷惑ばかりかけてしまったのは、私の1番の反省点です。

私は来年度も引き続きブロック長を務めさせていただきます。今年度の経験を生かしつつ、選手の声を取り入れながら、よりよい環境をつくっていけるように日々努力していきたいです。

日立ブロック長の反省

前日立ブロック長 片岡 龍冶

平成 21 年度の日立ブロックの反省をします。工学部はキャンパスが日立であることから、活動を主に日立市で行っています。工学部のみで活動を行っているため人数も少なく、今年度は 2 年次～院生まで合わせて 12 名(内 1 名は水戸の研究室所属)でした。少ない人数がバラバラに練習を行ったのではどうしてもモチベーションは低下し、練習の質が落ちてしまいます。そこで、少人数であるからこそ練習はまとまって行うことを心がけました。今年度はより具体的な集合時間を定めて集合し、連絡事項を確認し合いました。この点に関しては良かったことだと思います。反省すべき点としては道具が一時紛失してしまったことが挙げられます。特別な倉庫があるわけではないので完全に紛失を防止するのは難しいのですが、道具の管理は徹底していかなければならないと思いました。今年度の反省を活かし、来年度は日立ブロックをもっと盛り上げていけたらと思います。

II. 2009 年度活動報告

2009 年度活動内容

日程	競技会名	場所
05/16～17 23～24	第 88 回関東学生陸上競技対校選手権大会（関東インカレ）	国立競技場
06/12～14	全日本学生チャンピオンシップ	平塚（神奈川）
06/25～28	日本陸上競技選手権大会	広島
07/3～5	茨城県陸上競技選手権大会	笠松
08/	国体予選	笠松
08/08	第 44 回千葉大学茨城大学対校陸上競技定期戦（主催校）	笠松
08/21～23	第 82 回関東陸上競技選手権大会	千葉
08/25～26	関東甲信越大学体育大会	神奈川
09/4～6	第 78 回日本学生陸上競技対校選手権大会（日本インカレ）	国立競技場
09/19～20	第 24 回国公立 22 大学対校陸上競技選手権大会	千葉
10/	国民体育大会	新潟
10/10	関東学生秋季オープン	国立競技場
10/31	第 60 回北関東五大学対校陸上競技大会	埼玉
11/22	第 8 回国立 22 大学対校駅伝大会	昭和記念公園
12/6	三浜駅伝	ひたちなか
12/20	第 10 回荒川河川敷大学対校駅伝競走大会	荒川河川敷
12/25～28	宇都宮大学合同合宿	栃木少年自然の家
01/31	第 58 回勝田全国マラソン	ひたちなか
03/07	第 13 回日本学生ハーフマラソン選手権大会	昭和記念公園
03/15～18	春合宿	静岡
03/24～25	関東学連春季オープン	笠松
03/21	楮川駅伝	楮川ダム（水戸）

i) 大会後記

第 88 回関東学生陸上競技対校選手権大会

(2009/5/16-17, 5/23-24 : 国立競技場, ハンマー投 : 日大)

今年度の関カレは、16日・17日・23日・24日に行われました。悪天候の日もありましたが、選手が力を出しきりました。特に今回は一年生の活躍がとても印象的でした。女子走り幅跳びに吉原が出場し5m65で8位入賞、男子やり投げではホアンが8位に入賞するなど、トップクラスの中でも自分の力を十分に発揮していたと思います。また、女子800mでは石澤が自己ベストを次々に更新し決勝に進出、さらに5位に入賞するなどの素晴らしい結果が見られました。昨年に入賞した3人は今年もさらにパワーアップして結果を残しました。ハンマー投げの二見は6位、また同じくハンマー投げの弓削は3位、走り高跳びの森は2位に入賞しました。それ以外に出場したメンバーも昨年よりも上のラウンドに進んだり、自己ベストを出したりなど、茨城大学陸上競技部を堂々とアピールできほどの素晴らしい活躍が見られました。

新しく戦力に加わった一年生を含め年々関カレ出場者、入賞者が増えてきていると思います。関カレに出場しなかったメンバーも、選手の試合やアップを見てヒントになったことや、刺激になったことが多いと思います。今回のこの経験を今後を生かして練習に取り組んでいきたいです。(文責：遠藤園子)

関東インカレ結果 (出場者)

種目	記録	氏名	備考
男子 4×100mR 予選	41.66	後藤-和田-山本-上杉	
男子 4×100mR 準決勝	42.01	後藤-和田-山本-上杉	
男子 4×400mR 予選	3.21.92	山本-上杉-河野-和田	
男子 200m 予選	21.88(+1.5)	和田 和幸	
男子 201m 準決勝	22.36(-0.5)	和田 和幸	
男子 110mH 予選	15.66(-1.3)	後藤 雅彦	
男子 400mH 予選	53.74	上杉 明弘	
男子やり投 決勝	53m35	ホアン テ ウェン	8位
女子 4×100mR 予選	49.09	鈴木(麻)-遠藤-吉原-森	
女子 800m 予選	2.13.38	石澤 ゆかり	
女子 800m 決勝	2.12.88	石澤 ゆかり	5位・茨大新
女子 1500m 予選	4.36.76	石澤 ゆかり	
女子走高跳 決勝	1m70	森 あゆ美	2位
女子走り幅跳 決勝	5m65(+5.1)	吉原 友理	8位
女子三段跳 決勝	11m24(-0.4)	遠藤 園子	
女子砲丸投 決勝	11m32	城所 舞	
女子ハンマー投 決勝	47m27	弓削 真理子	3位
女子ハンマー投 決勝	43m60	二見 有紀乃	6位



4年生集合



森 (高跳び)



4継 (和田→山本)

第 44 回千葉大学茨城大学対校陸上競技定期戦

(2009/8/8 笠松：茨城)

2年続けて千葉県総合スポーツセンターで行われていましたが、今年度は茨城県の笠松運動公園で行われました。男女そろっての総合優勝を目指して臨む大会で、2年次以上の活躍もさることながら、新入部員の活躍が目立ちました。デビュー戦となるものも多くなかで、おおいに盛り上げてくれました。また、複数の種目にエントリーし、同時入賞、優勝を勝ち取るものや大会新記録もたたきだしたこともすばらしかったです。団体の面でもリレー種目において4×100mRにて男子が1位とともに大会新記録、4×400mRにおいて女子が1位で大会新記録と喜ばしい結果でした。しかし、男子は今回も勝利をのがし、総合優勝を得ることができませんでした。久しく総合優勝をえられずに水を分けられるなかで今後の練習方針や思想について考えさせられる大会でした。

試合が円滑に進み、良い環境での試合となりました。茨城陸協の皆さん、OBの皆さんに感謝いたします。こういった協力を忘れることなく、今後も邁進していきたいです。

来年も茨城にて大会が開かれます。次こそ男女で総合優勝を果たしたいです。(文責：堀越成志)

千葉対校結果 (優勝者)

種目	記録	氏名
男子 800m	1.59.31	井川 勝彦
男子 110mH	15.55(+1.5)	後藤 雅彦
男子 400mH	55.13	上杉 明弘
男子 4×100mR	42.65	後藤・和田(和)・上杉・山本
女子 100m	12.59(+1.6)	鈴木 麻理
女子 200m	25.77(+1.2)	鈴木 麻理
女子 400m	63.42	吉原 さゆり
女子 800m	2.16.65	石澤 ゆかり
女子 1500m	4.39.79	石澤 ゆかり
女子 4×100mR	49.87	吉原(友)・遠藤・鈴木(麻)・森
女子 4×400mR	4.07.53	吉原(友)・鈴木(麻)・林田・石澤
男子三段跳	13m22(±0.0)	逆井 智也
男子砲丸投	11m56	ホアン テ ウェン
男子やり投	55m31	ホアン テ ウェン
男子円盤投	32m56	ホアン テ ウェン
女子円盤投	5m40(+2.4)	吉原 友理
女子走幅跳	1m70	森 あゆ美
女子砲丸投	11m21	城所 舞
女子円盤投	32m26	城所 舞



3000mSC (手倉森・高野・佐藤)

第 58 回関東甲信越大学体育大会

(2009/8/25-26 等々力：神奈川県)

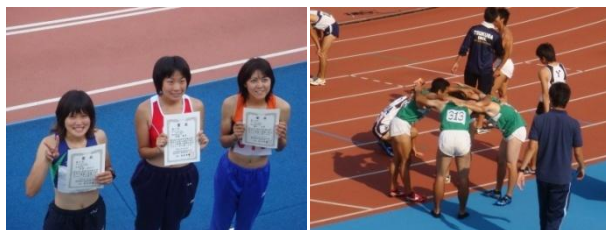
今年度の関甲信は神奈川県、等々力競技場で開催されました。天候もちょうど良く、ベストコンディションで臨むことが出来ました。今回は男子総合 5 位以内、女子総合優勝というチーム全体の目標を掲げ、さらに個人の目標も立ててもらい、より団結力を深めた状態で大会に臨みました。その成果が出たのか、今大会は個人での上位入賞者が多く、様々な種目で得点に絡むことが出来ました。またその中には 1 年生も多く入っており、今後の対校戦にもつながる試合となりました。

また競技以外の面においても、ハードルや縁石の出し入れなど大会の運営にかかわる作業を積極的に行っており、大会に対する意識の高さがうかがえました。

男女ともに総合で入賞は出来ませんでした。女子はフィールド部門で 3 位入賞、男子も目標だった総合 5 位という結果となりました。試合後には、今年目標である「食欲、茨城大学」について部員全員でもう一度確認し合いました。そして残りの対校戦に向けていい雰囲気を作ることが出来、充実した大会となりました。(文責：松村俊)

関甲信結果 (入賞者)

種目	記録	氏名	順位等
男子 400m	49.69	和田 和幸	4 位
男子 1500m	4.10.14	高野 和文	8 位
男子 5000m	15.31.80	手倉森 洋人	4 位
男子 110mH	15.61(+2.5)	後藤 雅彦	7 位
男子 400mH	54.24	上杉 明弘	4 位
男子 3000mSC	9.37.72	手倉森 洋人	4 位
男子 4×100mR	42.48	後藤・和田・山本・上杉	6 位
男子 4×400mR	3.21.44	山本・和田・上杉・河野	6 位
男子棒高跳	4m00	青柳 達也	6 位
男子三段跳	13m74(+0.4)	逆井 智也	8 位
男子円盤投	37m27	ホアン テ ウェン	5 位・茨大男子 3 傑
男子やり投	62m05	ホアン テ ウェン	1 位・茨大男子 2 傑
女子 200m	25.91(+0.3)	鈴木 麻理	7 位
女子 800m	2.14.62	石澤 ゆかり	2 位
	2.30.92	鶴見 彩	7 位
女子 4×100mR	49.37	遠藤・林田・鈴木(麻)・森	5 位・茨大女子 10 傑
女子走高跳	1m68	森 あゆ美	1 位
	1m65	林田 麻由	3 位
女子走幅跳	5m54(+1.3)	吉原 友理	4 位
女子砲丸投	11m65	城所 舞	4 位
	11m35	弓削 真理子	5 位・茨大女子 3 傑
	9m62	二見 有紀乃	7 位
女子円盤投	34m19	城所 舞	4 位
	32m04	鈴木 香織	6 位



800m2 位の石澤

男子マイルメンバー

第 78 回日本学生陸上競技対校選手権大会

(2009/9/4~6：国立競技場，ハンマー投げ：日本大学陸上競技場)

9月4～6日に国立競技場と日本大学陸上競技場（ハンマー投げ）で全日本インカレが行われました。茨城大学からは、4年次の森・二見，3年次の弓削・石澤，1年次の吉原の5名が出場しました。1日目は二見・弓削の女子ハンマー投げ予選が行われました。二見は、決勝（国立競技場）で6投投げたいと意気込んだ最後の全カレ。今シーズン不調に喘ぐ中、先日の関選で良い手応えを取り戻しつつある状態ではありましたが結果、悔しさが残る試合となりました。

弓削は記録48m03で14位。念願にしていた12枠まであと少しという結果でした。今年は標準記録が上がり厳しい試合という中で、意気込みつつも、狂いの修正をできず悔しさが残る試合になりました。この悔しさをバネにこれから緑の風を吹かしてくれると思います。

2日目は森の女子走高跳と石澤の女子800mが行われました。森の女子走高跳は出場メンバーの記録が互角で、その中でいかに良い跳躍が出来るかが重要でした。表彰台と自己ベストを目標に挑み、1m70で4位という結果でした。更に上位を狙える試合ただけに悔しさが残る試合ではありましたが、全国入賞という結果は大変素晴らしいものであり、また多くのプレッシャーがあった中、集大成としてこれだけの結果を残すことができたのは森の努力があってこそ成し遂げられたものだと思います。来年は新天地でもっと素晴らしい跳躍を見せてくれるでしょう。

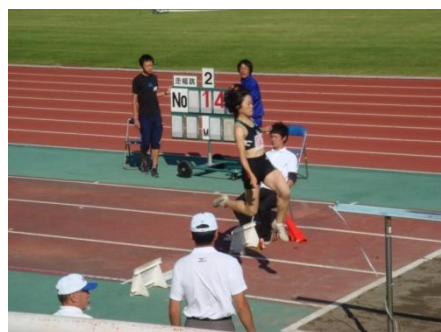
今期急成長を遂げている石澤は突然のヘルニアに襲われ無念の欠場という結果となってしまいました。今回は怪我に泣きましたが、まだまだこれからの走りに期待できると思います。この悔しさを次の全カレの舞台上で爆発させてほしいと思います。3日目は吉原の女子走幅跳が行われ、3本ファールで記録無しという結果に終わってしまいました。まだ1年ということでこれからも頑張っていきたいと思います。今後茨城大学から1人でも多くの出場者・入賞者が出るよう、より高い意識を持って練習に励んでいきたいです。（文章：吉原友理）

出場者

種目	記録	氏名	備考
女子走幅跳		吉原 友理	NM
女子走高跳	1m70	森 あゆ美	第4位
女子ハンマー投（予選）	46m28	二見 有紀乃	
	48m08	弓削 真理子	



森（走高跳）



吉原（走幅跳）

第 24 回国立 22 大学対校陸上競技大会

(2009/9/19～20 千葉)

今年の 22 大学対校戦は、千葉大学の主催で行なわれました。昨年より一校少なくはなりましたが、今大会も相変わらずの盛り上がりを見せていました。

今回は、ブロックごとに大会への意気込みを確認し合い、一人一人の目標を明確にして試合に臨みました。得点表をつくり、種目ごとの目標点数を明記することによって、選手達の意識を高められたと思います。

1 日目、2 日目ともに好調な滑り出しで、好成績が望める点数を獲得していきました。リレーで男女失格というハプニングもありましたが、一方で最終日、女子のマイルで 3 位 & 全カレ標準突破と、輝かしい成績を残すことができました。最終的な成績は、男子は 12 位、女子は 3 位となりました。昨年の成績を上回ることができなかったことは非常に残念ですが、取りこぼしも少なく、良い結果を残せた選手が多かったように感じます。また、怪我で出場を断念したり、存分に戦えなかった選手も沢山いたと思います。しかし、退院して間もない石澤さんが懸命に走る姿を見て、なにか感じるものがあつたのではないのでしょうか。私は非常に感動しました。

多くの自己ベストや入賞者が出て、私事ですが恐れ多くも優秀選手賞に選んで頂きました。夏の鍛錬の成果が現れた人が多かったように感じます。前期の締めくくりとして、ふさわしい大会になったと思います。(文責：城所舞)

種目	記録	氏名	備考
男子 200m	21.94	和田 和幸	第 6 位
男子 400m	50.14	和田 和幸	第 3 位
男子 5000m	14.52.16	秋山 陽佑	第 6 位
男子 5000mW	24.40.48	小向 瑞樹	第 5 位
女子 200m	25.74(-1.1)	鈴木 麻理	第 3 位
女子 400m	61.94	鈴木 麻理	第 7 位
女子 800m	2.14.29	石澤 ゆかり	第 3 位
女子 1500m	4.47.06	石澤 ゆかり	第 3 位
	5.03.84	鶴見 彩	第 6 位
女子 5000m	19.12.24	鶴見 彩	第 5 位
女子走幅跳	5m61(+4.0)	森 あゆ美	第 3 位
	5m48(±0.0)	吉原 友理	第 5 位
女子走高跳	1m70	森 あゆ美	第 1 位
	1m59	林田 麻由	第 4 位
女子三段跳	11m81	遠藤 園子	第 3 位
	11m01	吉原 友理	第 8 位
女子ハンマー投	47m49	弓削 真理子	第 1 位
	46m57	二見 有紀乃	第 2 位
女子砲丸投	11m64	城所 舞	第 1 位
	11m24	弓削 真理子	第 4 位
女子円盤投	37m03	城所 舞	第 2 位
	34m33	二見 有紀乃	第 4 位

第 60 回北関東 5 大学対校陸上競技大会

(2009/10/31 上尾)

10月最後の日に秋晴れの中でトラックシーズン最後となる対校戦がおこなわれました。結果は男子が総合3位、女子は総合優勝を勝ち取ることができました。

女子はこれで大会3連覇ととても素晴らしい結果でした。反面で、男子との力の差はひらいていてと感じさせられる結果でもありました。男女で総合優勝を飾るにあたっての今後の課題となりました。その他にも、男子中長ブロックの院生である秋山陽祐さんが大会男子 MVP に選ばれました。下記にもあるように、1500m、5000m で2冠を達成し、1500m では大会新記録と輝かしい成果をのこされました。

多くの4年生と院生の方の最後の対校戦ということもさることながら、忘れられない大会となりました。素晴らしい大会をとりおこなって下さいましたこと、埼玉大学、大会関係者様ありがとうございました。(文責：堀越成志)

結果 (優勝者)

種目	記録	氏名	備考
男子 1500m	3.57.01	秋山 陽祐	第1位 (大会新)
男子 5000m	15.16.14	秋山 陽祐	第1位
男子やり投	59m87	ホアン テ ウェン	第1位 (大会新)
女子 800m	2.18.43	石澤 ゆかり	第1位
女子 1500m	4.46.77	石澤 ゆかり	第1位
女子 3000m	10.56.30	鶴見 彩	第1位
女子 4×100mR	49.33	吉原一林田一鈴木一	第1位
女子走高跳	1m65	森 あゆ美	第1位
女子砲丸投	11m39	城所 舞	第1位



第8回国立22大学対校駅伝大会

(2009/11/22 昭和記念公園：東京 立川)

今年で8回目となる国立22大学対校駅伝大会が東京、昭和記念公園で開催されました。今年も昨年同様、悪天候が懸念されており、案の定朝方はしとしと雨が降り続いていました。スタート時には止みましたが、気温の低いままでのスタートとなりました。

結果をみると男子は総合13位、女子は総合7位となりました。男子に関しては、体調を崩す選手もおり、うまく調整できなかったことが順位に響いたと思われます。又、女子に関しては人数が減少し、短距離の小島と吉原が2区、3区を走りました。準備期間も少ない中、自分の出せる力を全力で発揮し、粘った走りをみせていたと思います。

選手の頑張りが応援をしている人にも伝わり、部員一丸となって皆一生懸命に応援していました。

来年こそ、悔しい気持ちをバネに部員全員で臨んでいきたいと思います。(文責：遠藤園子)

男子結果 2.02.32 (36.6km) 総合13位

1区 富井 一仁 (1年)	36.42 (10.3km)	区間17位
2区 小向 瑞樹 (2年)	9.35 (3.0km)	区間7位
3区 手倉森 洋人 (4年)	24.50 (7.5km)	区間11位
4区 高野 和文 (4年)	17.19 (5.3km)	区間9位
5区 秋庭 寛文 (2年)	17.28 (5.3km)	区間10位
6区 蓮田 大樹 (4年)	16.38 (5.2km)	区間3位

女子結果 1.00.53 (15.6km) 総合7位

1区 石澤 ゆかり (3年)	18.46 (5.1km)	区間5位
2区 小島 恵梨香 (1年)	12.00 (3.0km)	区間10位
3区 吉原 さゆり (4年)	09.59 (2.3km)	区間11位
4区 鶴見 彩 (4年)	20.08 (5.2km)	区間5位



三浜駅伝

(2009/12/6 ひたちなか)

この大会には、一般男子一部に1チーム出場しました。気温は暖かく駅伝日和でした。先に行われた22大駅伝では13位という結果だけに、この駅伝では「勝つ」という意気込みで臨みました。

1区では、高野が一位と47秒差の4位で入り、2区の蓮田で順位を2つ落としてしまいました。3区の小向が一つ順位を上げますが前にいっこうに追いつかず、4区手倉森と続きますがかわされてしまいました。5区の秋庭でまた順位を一つ上げますが、最終区6区の和田でわずかに20秒及ばず、最終順位は6位となりました。総合順位でも7位となり来年は2部で走ることとなります。

今大会は、良くも悪くも今年度のチームが出てしまっていた。これからの対校駅伝などで勝つためには個々のレベルアップが必須であり、それをおこなわなければチームとして戦っていくことはできないと思います。更なるレベルアップのため、チーム一丸となって精進していきたいと思います。(文責：小向瑞樹)

結果 一般男子一部：6位

	1区(6.1km)	2区(7.5km)	3区(3.3km)	4区(6.8km)	5区(4.5km)	6区(5.7km)
茨城大学	高野和文	蓮田大樹	小向瑞樹	手倉森洋人	秋庭寛文	和田明久
区間	19:29(4)	24:38(6)	10:21(4)	23:00(6)	15:04(4)	18:29(5)
総合	19:29(4)	44:06(6)	54:27(5)	1:17:27(6)	1:32:31(5)	1:51:00(6)

荒川河川敷対校駅伝大会

(2009/12/20 東京 荒川河川敷)

12月20日に荒川の河川敷で行われました。1区から蓮田、小向、手倉森、高野、和田、富井のオーダーで臨みました。タイムは2時間20分03秒、順位は11位でした。1区18位から順位を上げていき3区終了時は一桁順位が見えるところまで迫りました。しかし以降伸び悩み目標とした一桁順位には届きませんでした。後半区間に課題が残る目標達成にはチームの底上げが必要だと実感しました。目標には及びませんでした。順位変動があり駅伝らしいレースでした。(文責：富井一仁)

区間	1区	2区	3区	4区	5区	6区
	(10km)	(3km)	(8km)	(8km)	(5km)	(8.195km)
	蓮田大樹	小向瑞樹	手倉森洋人	高野和文	和田明久	富井一仁
	33.02	9.32	26.01	27.08	16.41	27.39



勝田全国マラソン

(2010/01/31 勝田)

今大会は16,175名ものランナーが参加しました。茨城大学陸上競技部からも中長距離陣、院2年生、4年生が数多く参加しました。また、OB・OGの参加も多かった大会となりました。

当日の天候は良く、例年より暖かくランナーにとってよいコンディションでした。フルマラソンのために忙しいなか合間をぬって練習した成果も十分発揮され、ほとんどの選手が制限時間内にゴールをし、記録賞を手に入れることができました。

地元の大会ということもあり、地元の温かさを感じられました。(文責：秋庭寛史)

男子マラソン					
氏名	記録	順位	氏名	記録	順位
秋山 陽介 (院2)	2.25.10	4	佐藤 伸行 (院2)	3.21.45	1063
秋庭 寛文 (2)	2.45.41	91	片岡 龍冶 (3)	3.25.49	1263
小向 瑞樹 (2)	3.04.16	459	手倉森 洋人 (4)	3.33.36	1669
浅川 瞭 (1)	3.08.00	570	涌井 遼平 (4)	4.12.53	3669
蓮田 大樹 (1)	3.08.19	582	小河 純 (4)	4.41.18	3644
高野 和文 (4)	3.11.29	675	鈴木 遼 (4)	4.59.43	4829
河野 光由 (4)	3.17.22	887	山本 悠輔 (4)		5533
女子マラソン					
鶴見 彩 (4)	4.09.47	331	鈴木 晴香 (4)	5.49.17	848
早坂 菜央 (4)	4.54.23	585	荒木 千尋 (4)	5.49.17	849
吉原 さゆり (4)	5.19.38	709	二見 有紀乃 (4)	5.57.32	878
尾崎 友美 (4)	5.35.16	797	森 あゆ美 (4)		



ii) その他の主な競技会の結果

茨城県選手権(2009/7/3～6) 8位入賞者

日時	種目	記録	氏名	順位等
7月3日	女子走高跳	1m70	森 あゆ美	第1位
		1m60	林田 麻由	第3位
	女子400	59.38	鈴木 麻理	第3位
7月4日	男子走幅跳	6m77	逆井 智也	第5位
	男子3000mSC	9.42.79	手倉森 洋人	第5位
	男子やり投	60m74	ホアン テ ウェン	第3位
	女子走幅跳	5m80	吉原 友理	第1位
7月5日	女子円盤投	32m25	鈴木 香織	第6位
	女子三段跳	11m09	吉原 友理	第2位
	女子800m	2.15.72	石澤 ゆかり	第3位
	男子400mH	54.28	上杉 明弘	第3位
	女子200m	25.45	鈴木 麻理	第5位

その他の競技会（入賞者のみ記載）

大会名	日時（場所）	種目	記録	氏名	順位等
第93回日本選手権	6/256-28 (広島)	女子走高跳	1m70	森 あゆ美	第4位
第6回トワイライト ゲームス	7/26 (代々木)	女子800m	2.15.65	石澤 ゆかり	第7位
第88回関東選手権	8/21-23 (千葉)	男子10000m	32.36.65	秋山 陽祐	第4位
		女子800m	2.16.99	石澤 ゆかり	第3位
		女子走高跳	1m68	森 あゆ美	第2位
			1m55	林田 麻由	第8位
		女子ハンマー投	48m62	二見有紀乃	第1位
			43m45	弓削真理子	第5位
第64回国民体育大会	10/3 (新潟)	女子走高跳	1m66	森 あゆ美	第8位

iii) その他の活動

協力審判員活動について

私たち茨城大学陸上競技部は、競技者としてだけではなく、審判員としても陸上競技に関わっています。今年度も笠松での大会を中心に、様々な大会で審判員活動を行いました。この活動によって、他の種目のルールを知ったり、あるいは自分の種目のルールを再確認したりと、陸上競技を違った視線から楽しむことができ、また陸上競技に関する知識をより深めることができました。なにより私たちが競技しているときの審判員の方々の努力を知ることができました。このようなことはただ競技をしているだけでは得られない貴重な体験であり、陸協の方々の頑張りがあるからこそ、私たちは最高のパフォーマンスを出せるということを感じ取ることができました。そのことを忘れずに、今後も感謝の気持ちを込めて審判員活動に取り組んでいきたいとおもいます。そしてこの活動を通して、より多くの人々と交流を深めていきたいと思います。(文責：松村俊)

主な審判員活動の内容

跳躍審判、投擲審判、監察員、周回記録員、風力計測員、写真判定員、記録員、競技者係、出発係、光波計測員

平成 21 年度審判補助員活動一覧

年月日	大会名
2009.4.10	リレー選手権
5.3	中学記録会
5.22	第 2 回記録会
6.5	中学記録会
6.27-28	全日本中学通信陸上競技大会
7.2-4	茨城県選手権
7.11	笠松スポーツフェスティバル
7.19-20	総合体育大会陸上競技大会
9.19-20	国公立 22 大学対校陸上競技大会
10.24	第 31 回茨城県小学生陸上競技大会

茨城大学・宇都宮大学合同合宿

12 月 25 日～27 日に、とちぎ海浜自然の家（茨城県鉾田市）で茨城大学・宇都宮大学・千葉大学の 3 大学が合同で合宿を行いました。短距離・中長距離・フィールド（跳躍・投擲）の 3 ブロックに分かれ、砂浜練習、坂練習、クロスカントリー、朝練習など、それぞれ練習を行いました。

1 日目の午前中は笠松運動公園で高校生と一緒に練習し、午後から会場入りをしました。練習場所・メニュー・メンバーなど、普段とは違った環境での練習でたくさんの刺激を受けました。また 2 日目の高校の先生のお話では、陸上競技との関わり方・人と人との関わり方などを考えるいい機会となったと思います。3 日目には全ブロック合同でのエンドレスリレーとスクワットがあり、体力・走力の向上だけでなく、大学・学年やブロックの枠を超えて交流も図れたと思います。

昨年とは場所を変更しての合宿となったが、天候にも恵まれ、3 日間の陸上競技中心の生活で、おのおのの技芸や心身を鍛錬することができた合宿となりました。(文責：鈴木香織)

Ⅲ. 2010 年度シーズンの抱負

主将抱負

主将 小向瑞樹

今年度、主将をさせていただくことになりました小向です。今年度の活動方針として、「日進月歩ー全員自己ベストー」としました。全員が日々を漫然と過ごすことなく取り組みをしていくことで、練習面、試合、そして生活面において着実に進歩していきたいという気持ちを込めました。そして、全員自己ベストを出すことで、部活全体の士気を上げることにつながり、個人の結果だけではなく、対校戦などのチームとしての結果にもつながるとして、今年度のテーマとしました。

今年は例年より私たちの代の人数が少なく、日立や阿見の方で活動している人もいます。だからこそ今年は、学年・ブロックという枠を超えて積極的にコミュニケーションをとることで情報を伝え合い、交流を深め合うことが大事であると思っています。それが部活動をより良く円滑にしていき、雰囲気がよくなっていくはずです。また現在、ブロック長の何名かは、下の学年が行っています。これをチャンスにとらえ、下から上の学年全体が部活をより良くする気持ちを高めていくことができると思います。そして、全員が個人・全体の目標を達成し、今までより進歩したと感じる部活にしていきたいです。

主務抱負

主務 城所舞

私が主務に就任すると思っていた人はいなかったのではないのでしょうか.....。私もです（笑）

来期の主務としての目標は、「仕事を溜めない」ことです。相当切羽詰まった状況でしか作業ができない性分というか病気でして、見通しを立てられず、いつも焦っています。自分の事なら自己責任ですみませんが、主務の仕事となるとそうはいきません。はやめはやめに作業に取りかかり、余裕をもって行いたいと思います。しかし今まで生きてきて、そう思っても実行できなかった思い出しかないの、皆さんからどんどんせつついて下さると非常に助かります...

また、国体の関係で、来年度の千葉対校の開催地が笠松となりました。来年度一番の大仕事だと思います。人数の少ない学年でやり遂げるのは容易な事ではありませんが、これまでの伝統を受け継ぎ、良い大会にできるよう努めたいと思います。

以上を読んで私が主務で安心したという人はまずいないでしょう。余裕を持って仕事をしたり、順序立てて手作業したり、普通の人が当たり前でできる事が私にはできないのです。そんな人間が主務につくのは皆さん非常に心配だと思いますが、私もやるからには精一杯頑張ります。そしてやり遂げるには皆さんの協力が必要不可欠です。私は本当に詰めが甘いし、行動は遅いし、忘れっぽいし、お世辞にも主務に向いているとは思えません。ですが、そんな自分を少しでも変えたいと思って、主務の仕事を引き受ける事にしました。終わったときに、「主務をやってよかった」と言える一年にしたいと思います。

人数の少ない私たちの学年ではありますが、全員精一杯よりよい部活作りに励みたいと思っておりますので、暖かく、時には厳しく見守って下さると嬉しいです。

短距離ブロック長の抱負

短距離ブロック長 松村俊

昨年 11 月から、自分は短距離ブロック長をやらせて頂いています。しかし自分は工学部なので、水戸の人たちと一緒に練習が出来ることが多く、練習中の指示が出来ないなど練習面で選手を引っ張っていくことやブロックのメンバーの体調などを詳しく知ることなどが出来ないことなど、ブロック長としてうまく機能しないことが多くなると思います。しかし、それを覚悟でブロック長になったので、一緒に練習できる時間が少ない中でも積極的にコミュニケーションをとり、一緒に練習できない時も、しっかりと水戸の人たちと連絡をとってブロック全体の状態を把握できるよう努めるなど、ブロック長としての仕事を全うしていきたいです。そして、様々な大会で短距離が率先してチームを盛り上げていけるようにし、近年短距離から出ていない全カレに一人でも多くの選手が出場できるようにしていきたいです。

中長男子ブロック長の抱負

中長ブロック長 小向瑞樹

今年度は今までの年とは違う状況になっています。それは、箱根予選会も危うい人数の少なさとレベルの低下です。昨年度は各個人持ちタイムを伸ばすことはできました。しかし、対校戦は思うような結果が残せず、対校駅伝では例年より成績がふるわず、三浜駅伝においては2部降格という屈辱を味わいました。そして、その中でチームを引っ張っていただいた、院生や4年生の方々卒業し、さらに厳しい状況となっています。しかし、そのことに関して決してひがんでいません。むしろその状況に立ち向かいたいと思います。

今年度は底辺の底上げ・対校戦で上位入賞を目標にしています。一人一人の基礎能力向上を目指し、自己ベストを更新すること、対校戦や駅伝で勝負し勝ち上がることです。そのためには日ごろから練習について考えながら取り組みをしていく姿勢だと思います。個人の走力が足りないからこそ、全員で考えながら行動し競い合うこと、そして意識を高めることでさらなる高みへといけるはずだと思います。大変な一年になると思いますがしっかりとこなしていきたいです。

中長女子ブロック長の抱負

中長女子ブロック長 石澤ゆかり

今年は待望の中長女子の新入生が入部してきました！！後が途絶えなくて何よりです。最上級生として、自分自身の集大成として、残り一年間は全力でブレイブな走りをしていきます！また、後輩たちの若いパワーをもらいつつ、お互い刺激合って、中長女子から茨大陸部を引っ張っていく勢いを作り出していけたらと思います。

跳躍ブロック長の抱負

跳躍ブロック長 逆井智也

跳躍ブロックのモットーは自分で考えて工夫する自由な練習です。メンバーの専門種目がばらばらなため、みんなの求めている練習が異なっているからです。そのため、各自練の時間を確保したり、補強に幅を持たせたり、要求によってはメニューを追加したりなども実行しています。各自に任せるといことは、妥協を許す可能性も出てきます。しかし、みんなの目標意識がしっかりしているので、メンバーを信じることによる真のチームワークで戦っていききたいと思います。

投擲ブロック長の抱負

投擲ブロック長 ホアン テ ウェン

ブロック長として活動して早くも4ヶ月が過ぎました。時間が流れるのは早いものですね。初めてメニューを作成していろいろ失敗などもありましたが、冬季練をみんなで乗り切れたと思います。いよいよ待ちに待ったシーズンインです。

今年の投擲の目標は、出た全試合で表彰台の一番高いところに立つことです。今のメンバーにはこの力は十分にあると思います。どの試合でも全力で記録と順位を目指していくことが大切です。このことが自分達に自信を与えてくれるし、チームを盛り上げるきっかけにもなり、今後に繋がる事だと思います。また投擲はパワフルな種目です。競技の中でチームを盛り上げられるような力強いパフォーマンスが発揮できればと思います。

自分の中では対校戦で投擲3種目全て3位以内に入れるよう努力していきたいです。全種目で満遍なく記録が出せることは自分の専門種目にもいい影響を与えるので、人数は少ないですが、対校戦では専門種目だけではなく、みんなにアドバイスなどを出しながら、専門種目以外でも得点を獲得できたらと思います。また投擲ブロックは全員が体育科に所属しているため、トレーニング方法など学んだことを周りにも還元し、チーム全体の基礎体力や技術の向上につながる手助けもしていきたいです。あとは今年こそ投擲ブロックに男子を入れて、去年より一層元気に明るく活動していきたいです。

最後に今年のシーズンの終わりに、やっぱり茨大の投擲は違うなと周りの大学に言ってもらえるようなシーズンにしていきたいです。

ハードルパート長の抱負

ハードルパート長 小島恵梨香

ハードルパートは、全員自己ベスト更新を目指して日々の練習をおこなっていきたいと思います。しっかりとハードル練習をいれることができるのは競技場での練習だけなので1本1本集中しておこなえるとよいと思います。ハードル練習に力をいれることも大切ですが、走力練習がおろそかにならないようにしたいです。ハードル練習と走力練習をうまく組み合わせることで競技力向上を目指していきたいです。ハードルパート内でしっかりとコミュニケーションをとり、お互いの走りを見るなどして、アドバイスしあい改善点を見つけあったりしたいと思います。自分自身が声を出して、いつも元気で明るく勢いのあるハードルパートにしたいです。

日立ブロック長の抱負

日立ブロック長 松村俊

日立ブロックは工学部なので、水戸ブロックや阿見ブロックの選手と一緒に練習できるのは多くても2回しかありません。また授業の関係で練習に出られないこともあり、普通にやっていたら水戸ブロックの選手よりも練習量が落ちてしまいがちだと思います。このことを日立ブロックの選手にしっかりと伝え、水戸ブロックの選手に負けない練習量を確保させたいと思います。そしてさまざまな大会に出て、水戸ブロックの選手に負けない成績を残し、工学部でもやれるということを改めて広めていきたいと思います。この他にも練習場所が違い、情報がこちらにうまく伝わらないこともあるので、積極的に水戸の人たちと連絡をとり、情報の格差をなくすようにし、さらに水戸ブロックとの一体感を深めていきたいと思います。

マネージャーブロック長の抱負

マネージャーブロック長 荻生めぐみ

昨年まで5人いたマネージャーブロックも、4年生の卒業や久保の選手転向でとても少なくなりました。しかし、たとえ人数が少なくても、できる範囲の仕事を最大限にこなせるようにしていきたいと思います。

仕事をしているときは目先のことだけを見がちですが、どんなときでも全体を見て、周りにアンテナを張りながら仕事をしていきたいです。そして、一聞いたら十まで先を見通して考えながら仕事をしたいです。またマネージャーの存在は選手あってのものなので、選手の声を大切にしたいです。そのために、お互いコミュニケーションをとってサポートのスキルを向上できるようにしていきたいです。

これからも選手共々日々努力して、よりよいサポートを提供できるようにしたいと思います。これからもマネージャーブロックをよろしく願います。

IV. 2010 年度活動予定

2010 年度活動予定

日程	大会名	場所
5/15-16	第 89 回関東学生陸上競技対校選手権大会	国立競技場
6/4-6	日本陸上競技選手権大会	丸亀（香川）
6/18-20	日本学生個人選手権大会	平塚（神奈川）
7/	茨城県陸上競技選手権大会	笠松
7/	国体予選	笠松
8/7	第 45 回千葉大学茨城大学対校陸上競技定期戦	笠松
8/20-22	第 83 回関東陸上競技選手権大会	熊谷
8/19-20	関東甲信越大学体育大会	長野
9/	第 79 回日本学生陸上競技対校選手権大会	国立競技場
9/	第 21 回関東学生新人陸上競技選手権大会	国立競技場
9/	第 25 回国公立 22 大学対校陸上競技大会	三ツ沢
10/	国民体育大会	千葉
10/	関東学連秋季オープン競技会	国立競技場
10/24	第 61 回北関東 5 大学対校陸上競技大会	宇都宮
10/	第 87 回東京箱根間大学往復駅伝競走予選会	昭和記念公園
11/	第 9 回国公立 22 大学対校駅伝大会	昭和記念公園
11/	日立駅伝	日立
12/	三浜駅伝	ひたちなか
12/	第 11 回荒川河川敷大学対校駅伝競走大会	荒川河川敷
12/	宇都宮大学合同合宿	未定
1/	勝田全国マラソン	勝田
3/	春合宿	未定
3/	第 14 回日本学生ハーフマラソン選手権大会	昭和記念公園
3/	関東学生春季オープン競技会	国立競技場
3/	楮川駅伝	楮川ダム（水戸）

V. 卒業・修了生より

秋山陽祐

学部時代を含め、茨城大学陸上競技部に 6 年間お世話になりました。色々な試合や活動を通して、たくさんの方々に関わり、多くのいい経験をさせていただきました。特に自分を成長させる上で人との関わりあいはとても重要で、人から吸収するものが大半でした。自分は積極的に人とコミュニケーションをとるのは苦手でしたが、様々な人の考え方を聞くことで少しは視野が広がったかなと感じています。現役部員の皆さんも、偏りなく様々な人と関わり、多くの人からよいものを吸収してってください。

また、卒業した方とたまに連絡をとったり、会ったりして近況を聞いたりすると、自分も頑張らなければ、と多々思います。私も 4 月から OB となるので、後輩の 1 人にでも 2 人にでもいい影響を与えられるように努めたいと思います。

最後に、6 年間、先生方をはじめ、OB・OG の方々や後輩の皆さん、お世話になりました。高校卒業時に一度はやめようと思った陸上競技ですが、今まで続けてこられたのは皆さんのお陰ですし、続けてきてよかったです。ありがとうございました。

大学院/理工学研究科博士前期課程機械工学専攻/中長距離/1500m 3.56.42, 5000m 14.52.16, 10000m 30.35.03, ハーフマラソン 1.09.27, フルマラソン 2.24.46

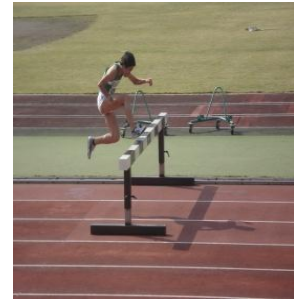


「陸上競技部での6年間を振り返って」

佐藤伸行

中学で陸上競技を始めてから12年がたち、その内の半分を茨城大学陸上競技部で活動させていただきました。この6年間を振り返ると、素晴らしい仲間たちと出会い、貴重な経験を数多くできました。

6年間の陸上競技生活の中で、入学から学部卒業までの4年間は素晴らしい先輩方、私よりも競技力が高い同期や後輩たちに囲まれて練習や競技に取り組み、大きく成長できました。また、その内の大半を過ごした日立での練習は、授業の時間が他の人たちとずれてしまい一緒に練習ができない日が多かったため、記録が伸び悩んだ3年生の時には競技をやめようとも考えました。しかし、同じ様に忙しい中でも練習をこなし自己ベストを更新する仲間たちの姿を見て、その度に奮起しながら練習に取り組み4年生の最後にトラック競技の自己ベストを更新することができました。大学院の2年間は、修論研究に専念するような生活になってしまい練習にほとんど参加できませんでした。その中でも、時間を見つけて全体練習に参加した時に温かく迎えてもらえたことが本当に嬉しかったです。また、競技面では12年間の競技生活の中でトラック、ロードの試合に数多く出場しました。4年生の時以上に競技力を伸ばすことはできませんでしたが、ひとつの事を一所懸命に続けていく精神的強さと根性が強化されたと思います。



陸上競技部で活動した6年間、先生方、素晴らしい仲間たち、OB・OGの方々に支えられて、悔いなく過ごすことができました。多くの経験をさせて頂いた茨城大学陸上競技部に感謝しています。ありがとうございました。大学院/理工学研究科 都市システム工学専攻/中長距離/10000m 34.29.54, フルマラソン 2.44.53

「6年間を振り返って」

高藤清人

6年間は長いようであつと言う間でした。その中でたくさんの人々と出会い、貴重な経験をし、人として少しは成長出来たかと思います。大学の陸上部に在籍し、多くの人と関わる中で学んだ事の一つとして、世の中にはいろんな考えの人がいるということが挙げられます。陸上に対する考え方や目標にも多様性があり、そういう事を聞くたびに発見があり、また単純に面白いと感じました。主将をしていた頃は、正直、その考え方の多さに苦労し迷走してしまう事もありましたが、現在のような立場になってからはいろいろな考えを聞くことを楽しめるようになりました。在校生の皆さんも、自分の意見を伝えたり、周りの考えを聞いて吸収して、成長して行って下さい。



それと、後輩の皆さんに、この言葉を贈ります。「好きこそものの上手なれ」。最近、部活に顔を出した走りをはじめ、改めて、走る事って楽しいと思いました。ま、勝マラから修論発表までろくに練習しなかったおかげで、体は動かないし、全身筋肉痛ですが……。入学したてのフレッシュだった頃を思い出しました。きっとあの時も走る事が大好きで楽しかったと思います。

最後になりますが、御指導して頂いた上地先生、渡辺先生、小川コーチ、異動された植田先生には深く感謝致します。また、多くの先輩方、後輩、そして個性豊かな同期のおかげで、充実した時を過ごすことが出来ました。本当にありがとうございました。

大学院/理工学研究科/短距離/100m 11.25, 200m 22.95, 400m 51.00

「4年間を振り返って」

荒木千尋

大学に入って真っ先に陸上部に入部した私は、この4年間「陸上」という言葉を口にしない日は無かったというくらい陸上部が大きな存在になっていました。競技成績は全く自慢できるものにはなりませんが、そこに達するまでの過程はどれも忘れられない思い出ばかりです。先輩に怒られるまで騒いだこと、歯を食いしばって頑張った冬期練、初めて触った円盤投、年に3回の合宿……。例を挙げたらキリが無いです。楽しい事も辛い事も、この陸上部が



9割方占めていると言っても過言ではありません。いつも横にいるのは陸上部の誰かだった気がします。気分屋で頑固な私を、先輩方は厄介な奴だと思ったに違いないでしょう。それでも面倒を見てくださった先輩、後輩、そして同期の皆に支えられて私は4年間過ごさることができました。この部活に入ってなかったら私はどうなっていたんでしょうね。色々と思うこともありましたが、私は茨城大学陸上競技部に所属できて幸せでした。これからは陸上競技と少し離れてしまうと思いますが、今までの経験を土台として更に成長できるよう、頑張っていきたいと思います。後輩の皆さんも4年間終えたときに誇らしく思える何かを見つけられるといいですね。

4年間本当にお世話になりました。ありがとうございました。

教育学部健康コース/跳躍/走幅跳 4m70, 円盤投 24m12

「茨城大学陸上競技部での4年間」

小川 純

私の大学生活において陸上競技が持つ意義はとても大きいものでした。茨城大学陸上競技部で得ることができた経験はかけがえのないものです。

私が出た一番貴重なこと、それは陸上競技を通じたみなさんとの出会いです。私の学科の関係上部活に出入りせずに一人で練習することがとても多かったように感じます。みんなが元気に声を掛け合って練習をしているのに、一人で遅れて行う練習はとても寂しく辛いものでした。しかし、最後まで辞めずに続けることができました。なぜなら、私は一人ではなかったからです。一緒に練習できなくても、残っているみんなが「ファイト」と声を掛けてくれたり、他ブロックの方が、同じような境遇で「お互い頑張ろうね」と言っていたりしました。それらの言葉の一つひとつが陸上競技部に私の居場所があることを教えてくれました。この茨城大学陸上競技部だからこそ私は頑張れたのだと感じています。最後に、今までお世話になったみなさん本当にありがとうございました。来年からも茨城県でみんなのことを見守っています。



教育学部理科選修/短距離/100m 11.51

「茨城大学陸上競技部で過ごした4年間」

尾崎友美

大学4年間を振り返ってみると、思い出されることのほとんどは部活のこと、部の仲間との出来事であり部活の存在は私にとってとても大きかったと改めて感じている。小さいころから、走ることが好きで、部活として中学校、高校、そして大学と10年間も続けてきた陸上競技ですが、今振り返ると、それぞれの場で、思いは全然違った。中学、高校のときは、記録とか順位で一喜一憂して走り、跳躍ともに記録を出すこと勝つことがすごく面白くて、試合が楽しかったことを覚えている。大学での競技は、やはり大学まで競技をつづける仲間はみんな意識もレベルも高くして圧倒されることが多く刺激されっぱなしだった。刺激されて記録を出すことが本望でしたが、なかなかうまくいかず…。10年間の陸上競技人生で、この4年間は一番、記録を出すことだけは楽しめなかった。しかし、一番、チームで戦うことの楽しさを知り、練習に真剣に向き合えた気がしている。対校戦では自分の記録とともに1点にこだわり競技へ臨み、応援のときは、一丸となって選手を盛り上げる、茨城大学陸上競技部として部員全員で戦い、喜びやまた悔しさも分かち合った。学科の友達とはまた違う、一緒にいて居心地のいい仲間にも恵まれて過ごした、春合宿、冬合宿、茨苑祭、追いコン、飲み、普段の何気ないやり取り、苦い思い出、うれしい思い出、迷惑かけた思い出、いろいろありますが、どれもいい思い出で私の宝物になっている。4年間本当にお世話になりました。後輩のみんなの活躍を期待しています。



工学部生体分子機能工学科/跳躍/走高跳 1m55

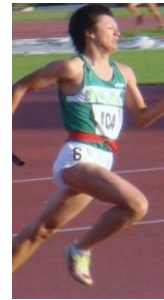
「4年間を振り返って」

茨城大学陸上競技部での4年間は、あっという間の4年間でしたが、素晴らしい仲間と出会い、貴重な経験をさせて頂いた場だったと思います。きつい練習ができたのも、最後まで続けることができたのも、競い合ったり、支えてくれたりした仲間がいたからだと思います。まさに茨城大学のよさは、本当に信頼できる仲間がいることだと思います。信頼できるから、自己ベストや入賞した時、自分のことのように喜んでくれたり、負けたり、決勝を逃した時には、泣いて悔しがってくれました。そんな励みがあったので、次の試合では良い走りをしようとして一生懸命練習することができました。私はそんな茨城大学で陸上競技ができたのが本当にうれしかったです。“信頼できる仲間”これからも大事にしていって下さい。

最後に、多くの御指導をして下さった、上地先生、渡邊先生、学生生活を共に過ごし、競い合った陸上競技部の皆さん、今まで本当にありがとうございました。

工学部電気電子工学科/中長距離/800m 1.58.20

河野光由



「4年間を振り返って」

入部することを不安に感じつつ、皆から少し遅れて入部した私ですが、あっという間に卒業となってしまいました。

そして大学の4年間の思い出は、陸上競技部のことなしに語るこのできないものとなりました。

試合はもちろん、毎日の練習や日々の何気ないやり取りなど、小さな積み重ねが大きな思い出です。

皆の一生懸命な姿に何度も励まされ、たくさんの元気をもらいました。

部の中心となり運営していく立場になったときは、皆で悩んだり何度も話し合ったり、時にはぶつかり合うこともありました。だからこそ得られたことがたくさんあります。一つのことを成し遂げるには、見えない部分でもたくさんの人の力が必要であるということを学んだことや、自分らしさを生かしながら組織の一員として動くという経験ができたことは、これから社会に出て行く上で大きな糧になるのではないかと思います。

また、マネージャーとしての自分の存在に疑問を感じたり悩んだりしたこともありました。しかし皆からの「ありがとう」の言葉に本当に助けられました。その言葉の積み重ねで少しずつ自分に自信を持つことができました。サポートする側でありながら、いつも周りの人たちの存在に助けられてきたということを改めて感じています。本当にありがとうございました。

真剣な話をしたりくだらない話で笑い合えたり...そんな毎日が当たり前だったのにそれが当たり前でなくなっていくことがすごく寂しいです。しかし、これまで築いてきた関係をこれからも大切にしていきたいと思います。

先生方、先輩、後輩、そして同期のメンバー、本当に多くの素敵な方々と出会い、時間を共有することができたことを誇りに感じています。

今後も茨城大学陸上競技部の更なる発展と活躍を期待しています。

教育学部養教/マネージャー

鈴木晴香



鈴木 遼

勝田マラソンを完走した後、卒論や旅行、引越しなどに追われ、あっという間に卒業を迎えてしまいました。昨年までだったら冬季の走り込みとウェイトの成果がお尻にあらわれていたのですが、今年はどうやら違うようです……。多忙な日々をおくっているとなかなか身体を動かすことができないものですね。部活動として、指導して下さる先生やコーチ、一緒に練習する仲間のいることのありがたさを改めて実感しています。ただ当時を振り返ると、部活のある日常をあたりまえのように感じ、受け身で取りくんでしまうことも多くありま



した。主務として運営に携わっていたときに比べ、受け身になっていたときは良い結果はほとんど出ませんでした。部活動最後の年となる4年生、運営の中心である3年生、新入生が入り先輩になる2年生、各学年の役割や自分の役割を考えて日々の部活動に対して積極的に取り組めたら、茨城大学陸上競技部はさらに成長できるのではないかと思います。そんな自分はOB・OGの先輩方を見習って卒業生としての役割を果たしていきたいと思っています。衰えたお尻もきたる千葉対校、五大を見据え鍛えていきます。素晴らしい大学生活をありがとうございました。
教育学部保健体育選修/短距離/400m 52.38

「4年間を振り返って」

鶴見 彩

陸上を続けようかどうか悩んでいた4年前の春。あれからあっという間に4年が経ってしまいました。初めは見学のつもりだったのに、茨城大学陸上部の温かい雰囲気に居心地の良さを感じ、そのままあっさり入部してしまったのを覚えています。

1日でも早く体力を戻そうと必死だった1年次。競技人生で初めてのケガを経験し、走れないことの辛さを味わった2年次。チームの好成績を心から喜べなかった3年次。仲間存在の大きさに改めて気付かされた4年次。この4年間で色々な経験をしてきましたが、振り返ってみると辛いことの方が多かったように感じます。しかし、4年間で得たものはそれ以上に多く、価値のあるものだと思っています。社会に出てからも陸上と関わることができるとは限りませんが、この茨城大学陸上競技部での経験はこれからの人生で必ず生かすことができると思います。また、4年間で築いた関係はこれからもずっと続いていくでしょう。

大した記録は残せなかった私でも充実した4年間であったと自信をもって言わせてくれる、この茨城大学陸上競技部をととても誇りに思います。これからも部員にとってこのような存在であり続けてほしいと思います。

教育学部健康コース/中長距離/5000m 18.54.16, 3000m 10.56.30, 1500m 4.53.53, 800m 2.25.98



「4年間を振り返って」

手倉森洋人

今、パソコンを開き、『4年間を振り返って』というタイトルでこの茨城大学陸上競技部の思い出を振り返っていますが、あまり実感が湧きません。

茨城大学陸上競技部に入部してから、数々の先輩方が卒業していく姿を目にし、その度に先輩方の偉大さや自分の未熟さを痛感させられてきました。今、思うとはたして自分は、そのような先輩方と肩を並べられるくらいの人になれたのだろうか……。自分はそんな気がしていませんが、もし自分が先輩方に感じていたような気持ちを後輩たちが感じていてくれるとしたなら、とても嬉しいです。

5000m, 16分台なんかで終わってたまるかという気持ちで入部したあの時から、始まった大学の陸上競技生活。あの頃から考えると田舎者の自分が、今までとは環境の違う土地で様々な仲間や考え方にふれ、だいぶ成長できたと思います。ただみんなと走ることが楽しかった1年、強くなりたいと思えた2年、挫けそうになった3年、意地を見せられた4年……。いろんなことがありましたが、後悔はありません。茨城大学陸上競技部に入って本当によかったと思います。そう思えるのも、先生方のご指導や面倒を見てくださった先輩方、ついてきてくれた後輩たち、地域の人たちのおかげです。特に、同期のみんなにはお世話になりました。本当に感謝しています。ありがとう。

ほとんどの同期が社会へ巣立っていく中、自分には幸いまだ2年間も茨城大学で陸上競技に打ち込める機会があります。その時間を無駄にせず、みなさんと共に成長していけたらと思っています。まだまだ未熟者ですが、これからもよろしくお願ひします。

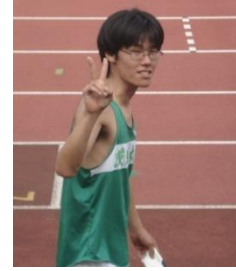
工学部/中長距離/3000mSC 9.36.96



蓮田大樹

考えてみれば、大学に入ったら陸上競技部に入ろうと特に意識するようになったのは、浪人時代、勉強しながらジョギングを毎朝やっていたあの頃でした。中学・高校とずっと陸上競技部に所属していて、卒業ギリギリまで引退もせずにいた自分が、初めて1年間も部活から離れていたこの期間。つらいのも、苦しいのも嫌で、長距離の練習なんてそんなものの繰り返しなんだと分かっている、いざ離れてみると・・・もう一度、やってみたくなった訳です。だからといって、明確な目標も、高い志もなく入った茨城大学陸上競技部でしたが、一番たのしめたのもこの部活だったような気がします。ただ楽しさを模索していた1年、全体像を何となく把握できてきた2年、今までの思慮の浅さを後悔した3年、今までの失敗を生かそうと心掛けた4年。なんだかんだ、自分でも少しは成長できたのかなと感じたり、支えられて走っていられることを今更ながら実感できたことを良かったと思います。最後になりますが、4年間お世話になった方々に変な感謝しています。ありがとうございました。ちなみに今後私はOBになります。みなさんの元気な姿、頑張っている姿、燃え上がる魂をみられることを楽しみにしております。

教育学部/中長距離/5000m 15.26.38, フルマラソン 2.39.42



「4年間を振り返って」

私は大学で初めて陸上競技と関わり、マネージャーも初めての経験でした。入部してしばらくの間は、今まで経験したことのない個人競技ならではの雰囲気や、マネージャーとしての仕事に戸惑うことも多かったような気がします。そんなわたしでしたが、暑い日も、寒い日も、雨の日も、風の日も、毎日ひたむきに努力し続ける皆さんの姿に感動し、試合では、その日々の努力の成果をすべて出し切ろうとする皆さんの姿に感動し...とにかく皆さんからたくさんの感動をもらい、陸上に夢中になっていくうちに、茨城大学陸上競技部のマネージャーであることを誇りに思うようになりました。この4年間を通して、たくさんの人と出会い、たくさんのこと経験し、たくさんのことを学ぶことができました。これらのことは、これから生きていく上でとても大切なことばかりだと思います。この部に入部してよかったです。心の底からそう思います。そしてそのように思わせてくれた皆さんには、感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

これからはOGとして陸上競技部を応援し続けることで、少しでも恩返しできたらなあと思っています。後輩の皆さんの活躍を楽しみにしています。みんなで切磋琢磨しながら頑張ってください☆

教育学部健康コース/マネージャー

早坂菜央



「4年間を振り返って」

約3カ月ぶりにサークルに立つと、そこには変わり果てた自分の姿が。現役の時より5キロ近く体重が落ち、3キロハンマーを投げるも、転倒.....。悲しすぎる。

引退してから4カ月が経ちました。中学から陸上を始め、こんなにもの間、陸上競技から離れたことはありませんでした。離れてみて思うことが沢山あります。一番はやはり“陸上競技が、そしてその目標が自分の中でとても大きな存在だった”ということです。陸上が生活の中心でした。引退してから今日までの期間は、競技をしていた期間に比べたら短すぎるものなのに、恐ろしいことに陸上が生活の中心ではない生活に慣れてしまっています。この4年間の陸上生活は、今までの陸上生活に比べ、沢山の人と出会い、学ぶ機会がありました。その一つ一つが良き思い出であり、自分自身の成長の糧になっていたと思います。本当に貴重な経験が出来ました。後輩達には、この環境の中だけで満足せずに、自分が今いる枠を越えて、陸上競技に取り組んで欲しいと切に願っています。

“終わりよければすべてよし”というように、最終学年のシーズンで何かしら納得のいく答えが見つければ「すべてよし！」と思えたのかな、とふと思います。もちろん4年間で良いこともありました。しかし、未だに大学4年間の陸上をうまく評価出来ないでいます。結局、何も残すことは出来ませんでした。苦しい時もありましたし、悩むこともありました。しかし、最後まで諦めなかったこと、これは胸を張って言えることだと思います。そういう姿が、後



二見有紀乃

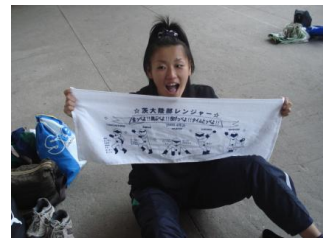
輩達の心に少しでも残っていてくれたら幸いです。

陸上漬けだった日々から離れ、自分が何をしたいのか、何をを目指しているのかわからなくなりつつあります。これからどんな形で陸上と携わっていくかもわかりません。投げるのか、種目変更か、はたまた市民ランナーか.....笑。ともかく、今後は茨城大学陸上競技部をOGとして支えていきたいと思います。

最後に、4年間支えて下さったすべての人に感謝します。ありがとうございました。
教育学部スポーツコース/投擲/円盤投 37m59, ハンマー投 48m62

森あゆ美

大学4年間の陸上競技生活は、今までの陸上競技生活の中で一番いろいろな経験ができた4年間だったと思います。なんとといっても、3年の時のブロック長は本当にいい経験になりました。自分たちで部活をつくっていく(もちろん周りの支えがあってですが!!)という経験をして陸上競技を更に好きになる事ができました。また、同じ学年の仲間達とは強い絆が生まれたと思います。互いに協力し、意見し合ったり励まし合ったり...。素晴らしい仲間です。



そして、周りで支えてくれている人達の『力』を感じる事ができました。陸上競技の試合は一人でやっているけれど、一人では練習もキツイし指導やアドバイスをしてくれる人も居ない。そしてなにより、成果を出しても一緒に喜んでくれる人もいない。試合は一人きりで戦っているように見えても、その後ろには多くの支えがあると私は思います。高校までは陸上競技ができる事が当たり前になっていましたが、大学に入り、陸上競技を続けられている事に感謝できるようになりました。こんな私ですが成長していたみたいです。

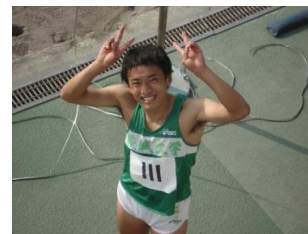
私はまた違う環境で陸上を続けていくわけですが、これからは茨大とはライバル?!として、互いに影響し合える関係になればいいなと思います。今まで本当にありがとうございました。

教育学部保健体育/跳躍/走高跳 1m73/走幅跳 5m65/三段跳 11m34

「ありがとう」

2月に卒業論文発表会を終え、少しずつではありますが練習を再開しました。思うように走れない今、夢中で走っていた4年間がどんなに幸せだったかと考えながら、重い身体にムチを打ち筋肉痛と戦っています。

入部してから、ここでは語り尽くせないほど多くの経験をさせてもらいました。特に主将としての1年間は嬉しかったこと、悔しかったことに溢れ、良い経験も、苦い経験もすべてが私という人間を成長させてくれたと思います。また、陸上競技にとどまらず熱心な指導をしてくださった先生方、未熟な自分を寛大な態度で支えてくださった先輩方、こんな私を信頼してくれ、共に戦った大所帯の同期、一緒に部を盛り上げてくれた後輩、地域の方々など多くの人に出会い、支えられた4年間でした。本当にお世話になりました。



山本悠輔

入学当初の生活の新鮮さが薄れ、当たり前の日常が続くと、日々を何となく過ごしてしまいがちです。そして怪我をして走れなかったり、終わりが近づいたりして当たり前が当たり前でなくなってやっとなり、当たり前だと思っていたことがどんなに幸せだったのか気付きます。もったいないですね。でもどんなに悔やんでも茨城大学陸上競技部で過ごした4年間は戻ってはきてくれません。この経験を胸に、私にできるのはこれから先の限りある時間を最大限に楽しみ、多くの幸せを味わえるように精一杯生きていくことだと思います。

4年間本当にありがとうございました。先輩方、同期のみんな。私はいつでも水戸でみんなの帰りを待っています。
教育学部保健体育/短距離/100m 11.12, 200m 22.71

私と陸上競技

吉原さゆり

高校から始めた陸上競技。走ることを語れるほどの力量はもてなかったけど、ただ「走る」ということに、引退した今も、ものすごく魅かれてます。卒論執筆中、誰もいないまっすぐな大学の廊下を、トイレ目指して何度走ったか。きつく締めたスパイク、自分だけのレーン、スタートの姿勢、号砲前の静寂、集中できた時の音のない世界…。走りたいなあ（…でもう1周はいいです、てかできない）。全力疾走っていつまでできるんでしょう（もうすでに危ない!?!）。生涯走ることを好きでいたいなと思います。廊下走るなって叱られたり、運動会の職員リレーでガチ勝負できる先生でいたいです。大学での4年間は、茨城大学陸上競技部の一員であることが誇りでした。周りにたくさん刺激をくれる人がいて、その刺激のあまりの強さにたじろいだことも度々ありましたが、その分たくさん成長させてもらいました。「初恋の人が陸上部だったから」なんて甘酸っぱいきっかけは遠く霞むほど、たくさんの陸上競技の魅力、楽しさを教えてくれた部でした。私の陸上競技を支えてくれた方、陸上競技を通して関わられた全ての方に感謝しています。

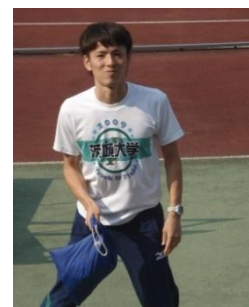


さて、競技から離れて最近感じているのは、刺激、成長への飢え。「可能性」「向上心」という言葉に、常に重みを持たせられる生き方をすること、自分を諦めないことをモットーに、これからも山をのぼっていきたく思います!!
教育学部教育基礎/短距離/400m 62.71

2年間で感じたこと

涌井遼平

私の陸上部生活というのは、茨大編入前の日立駅伝の際に、偶然にも1区のランナーの付き添いでスタート地点にいた鶴見にお声を掛けさせて頂いたことが始まりでした。その時非常に緊張したことを覚えています。あれから2年が過ぎてしまいました。自分自身の競技人生も分岐点に差し掛かろうとしています。3年半前にジョガーとして始まったランニング人生。当時は本腰をいれて活動するとは夢にも思いませんでした。しかし負けず嫌いの私。同じ場所で練習をしている年配の方に圧倒的に負けることはプライドが許せませんでした。そこが私の陸上競技者としての原点になっております。最近ふと思うことがあります。それはあの時もし「走ってみよ」と思わなかったら、如何なっていただろうと。おそらくこのような日々の日常生活で喜びや感動を与えられることはなかっただろうと。私は確信しています。陸上というスポーツに出会えたことが大きく私の人生を変えたということを。今後も陸上とうまく付き合っていきたいとそう思っております。



私は後ろを振り返ることは好きではありませんが2年間のことを思い出すと、最近までは、あの時もっと練習しておけば、またはあの大会に出たかった等自分自身のことしか考えていませんでした。でもようやく気付いたみたいです。同世代の仲間がほしかったという自分を。引退するまでは感じなかった思いが今になって痛感しています。私はこれまで殻に閉じこもって自分勝手に練習をしてきました。それに満足している自分がいました。しかしもっと大切なものがあつたことに早く気付くべきだったと・・・

そんな私が言うのもおこがましいですが・・・茨城大学陸上競技部最高!!そしてありがとう。

工学部/中長距離/1500m 4.13.02, 5000m 15.58.10, 10km 33.42

IV. OB/OG 近状報告・現役部員へのメッセージ

山下弘文

現在水戸市の嘱託職員として、主に高齢者の方への運動指導をしています。高齢者の方は、和やかでとても優しく、日々社会のさざなみにもまれていきます。引退したら確実に太ると思っていたのですが、今のところ大丈夫そうです。

年末に同期の仲間と忘年会をしました。みんな学生の頃のままとても楽しかったです。体型も一人を除き変わっていませんでした。同期の仲間と過ごす時間は本当に楽しく、仲間の大切さを改めて感じました。

部活にはたまに顔を出させていただきましたが、みんなしっかりと競技をしており、見ていてこちらもすごく熱くなりました。また、1・2年生と3年生の一部からは若さもいただきました。ごちそうさまでした。

大会の応援に行ったときに、後輩から今の部活の話聞く機会がありましたが、内容が改善点ばかりで、部活の良い部分が聞けなかったことが残念でした。悪い部分を見つけて、それを改善していくことも必要ですが、もっと良い部分に目を向けることも必要だと思います。悪い部分が目についてそこばかりを見てしまいがちですが、全員に良い部分・評価すべき部分はあるので、それを積極的に見つけてほしいと思います。主将の良いところを10個言えますか？今度部活に行ったときに聞くかもしれません。

またいつか顔を出しに行くのでかまってください。よろしくお願いします。次回は邪魔しないように気をつけます。今後も応援しているので、がんばってください。

教育学部保健体育/短距離・ハードル/400mH 54.08, 110mH 16.17



西尾謙次郎

現役部員のみなさんお元気・・・ですよ。(笑)

私はホンダに入社し、工学部卒業ですが今は営業に配属され、営業の仕事をしています。現在はまだまだわからないことが多く、いやなことも多いです。世の中思い通りいかないことが多いと実感しました。しかし営業でも機械に関わりはあり、工学部で学んだことが役に立つことはあるし、新しい発見も多くつらいことばかりではありません。

今は毎日7時くらいに帰宅し、そこから2〜3時間練習しています。きつい時もありますがよいリフレッシュにもなっていますし、何より「10秒台を出したい」という強い気持ちが私を動かしています。みなさんもこれから就活や授業や実習など忙しいことが多いと思いますが、やろうと思えばどんなに忙しくてもできます。要は「できる、できない」ではなく、「やるかやらないか」だと思います。

まあ口で言うより態度で示していきたいと思います(笑)。私も皆さんに負けないように頑張りますので、皆さんも頑張ってください。

工学部機械工学科/短距離/100m 11.17, 200m 22.99



岡崎浩樹

皆さんお元気でしょうか？

8月の千葉大学対校、9月のインカレではお世話になりました。

私は社会人のことはよくわからないのでその辺は周りの同期の方に任せて今年の自分の陸上生活を通して感じたことを書こうと思います。

今年は事務的なことから練習までそのほとんどを自分一人でやっていました。厳しいなりにも自由度がとても高く、今年は、石川、新潟、神奈川、東京などいろんな地で試合に出ることができました。新潟には北信越のインカレで行ったのですが、一人で高速を片道3時間走って、試合で3000mSC走って、そしてまた帰って、右足はやばかったです(笑)。

今年は「自分の走りをみんなに見せたい」という強い思いが自分の中にありました。茨城大学陸上部には4年間とてもお世話になったから。ですが、今年もひそかにお世話になっていました。今年は練習が終わった後、空を見上げることがとても多かった気がします。「みんなは元気にやっているだろうか。」とか「また走りに行くからちよいと待ってて。」とか勝手に考えながら(笑)。だからインカレ出場が決ま



ったときは本当に嬉しかったです。

インカレのことはあまり覚えていません。走る前にもものすごくまぶしかったことと、みんながアツい応援をしてくれたことくらいしか覚えていません。

応援、本当にありがとうございました。感謝しています。

大学生活で陸上を続けるにあたって、さまざまなことがあると思いますが、自分のスタイルを作って目標に向かってほしいと思います。

それでは、茨城大学陸上競技部のご健闘をお祈りしております。

工学部メディア通信工学科/中長距離/1500m 3.59.20, 3000mSC 9.07.37

茨大陸上競技部のみなさん、お久しぶりです。私は、現在地元山形県の町役場で教育委員会の生涯学習係というところで仕事しています。まさにやりたかった部署での仕事なので、忙しいながらも毎日楽しく過ごしています。自分自身、一年間社会人として仕事をしてきて、ものすごく成長したを感じています。しかし、精神面や責任感など、大学4年間で得たものが今になってとても自分の強みになっているような気がします。4年間という間に得たもの、吸収したものは本当に大きいものです。部活動においても同じだと思います。辛い条件やひどい条件での練習や試合、そしてあの勝マラ...そんなことを思い出すと、ちょっとした山登りくらい（未だに仕事で山登りしているのですが...）楽になります。きっとみなさんもこれからいろんなことを経験していくと思いますが、なんでもない今の毎日がいつか自分のためになるはずです。毎日、とりあえず楽しんでください。そして、部活動も精一杯楽しんでください。

忙しい日々の中でも、茨大陸上競技部のことをふと思ったりします。正直なところ、あのころに戻りたいな〜って思うこともありました。今でもそう思えるくらい、茨大陸上競技部で過ごした日々がかけがえのないものです。なかなか顔を出しに行けないのですが、大好きな後輩たちの活躍をこの遠い山形から応援しています。これからも頑張ってください!!!がんばれ〜茨大陸上競技部☆☆

そして4年生のみなさん、卒業おめでとうございます。こんな私ともみんな仲良くしてくれて、個人的にはとても思い入れのある学年でした。これからそれぞれの道に進む訳ですが、4年間陸上競技部で頑張ってきたことを誇りに前に進んで行ってください。

人文学部人文学科/マネージャー

高橋友



こんにちは。4年生のみなさん・M2の先輩方ご卒業おめでとうございます。

私は現在日立の実業団選手として働いています。私の生活は朝5時半にはスタートし、出勤、練習、その他食事や入浴など毎日定められたリズムでひたすら繰り返していきます。仕事として走る現実に悩むこともあります。廃部が決まる企業もある不況の中、競技が出来ることに感謝しています。

現役部員のみなさんへのメッセージとして一つ目は、どこにいてもやるのは自分だということです。(このことは今自分に言い聞かせています。)大学入学当初力のなかった私ですが、逆にやれることはたくさんあると教えてくれたのが茨大での生活でした。陸上について「考える」ことはおもしろいです。いくらでも考えて実践出来る環境です。

二つ目は、学生生活の中で部活というものは勉強や陸上以外の時間があるからこそ充実しており成り立っているのだと思います。例えば直接陸上と関係なくてもひとつひとつをしっかりと自分のものにしていくことが競技にもつながっていくと思います。そして三つ目に、仲間や恩師との出会いを大切にしてください。私はよい先輩・同期・後輩、上地先生の厳しいご指導(愛情です)のおかげでとても楽しく過ごすことが出来ました。

いい時もあれば悪い時もあり、苦しい時もあれば楽しい時もあります。きっとどんな道に行っても共通するものだと思います。「何事もうまくいかない時は停滞ではなく変化の時だ」という言葉を贈りたいと思います。みなさんの活躍や自己新の報告などを聞くととても嬉しく自分にも気合が入り元気づけられます。今後とも茨大陸上部の活躍を応援しています。

教育学部スポーツコース/中長距離/1500m 4.33.51, 3000m 9.55.39, 5000m 16.28.82

野田春香

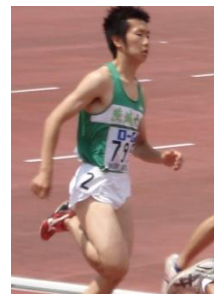


吉田 祐

こんにちは。現役生の皆さんお元気ですか。いつも HP より皆さんの結果報告を見て元気もらっています。現在私は小学校 4 年生の子供たちと日々遊びながら過ごす生活をしています。毎日飽きずにオニごっこです。最近「先生早く遊びに行こうよ！」という言葉に幸せを感じています。もちろん、少しでも長く走り続けて運動量を増やしています。でも、「先生ダイエット中だから！」と子供たちに言ったら、給食が山盛りになりました。おかげで食事は増えたままです。

学校で仕事を始めて一年。慣れない業務に翻弄されながら、その中で毎日の授業の準備もある。そんな毎日があっという間に過ぎていきました。それでも、たくさんの経験を経て、少しでも自分自身を成長させたいと思っていましたが、結局日々の積み重ねが一番大切だと強く感じました。このことは学力も、人間関係も、そして陸上競技も、どんなことにも言えると思います。「あの時こうしておけばよかった」と私自身過去を振り返ってばかりで、勤務初日に「大学でもっと勉強しておけばよかった」と早速後悔したくらいです。だから皆さんには大学生活の「今」を大切に 1 日 1 日過ごしてほしいと思います。そして HP を通じて皆さんの活躍を楽しみにしております。これからも応援しています。

教育学部理科/中長距離/800m 1.56.96



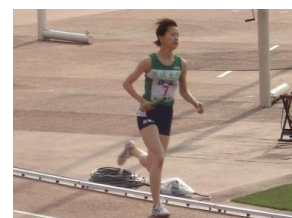
嶋田 絵里子

みなさん、お元気でしょうか。

卒業してから 1 年が経ちますが、今も大学生活を懐かしく思い出します。楽しかった思い出と共に、“もっとこうしておけばよかったな”と思うことがたくさんあります。大学生活はいろいろとチャレンジをすることができます。もちろん、競技をとことん追及していくことも。みなさんにはいろいろなことに精一杯、取り組んでほしいなと思います。

私の近況報告はといいますと、県内の工場で事務の仕事をしています。PC 作業が多いため、1 日中部屋の中で座っています。私生活では会社の人たちと走ったり、試合の応援に行ったりと、何かと陸上と関わりの多い生活を送っています。会社に陸上部があるので、その応援も楽しみです。やっぱり、陸上っていいなと思います。そして、みなさんの活躍も私の楽しみです。これからも茨城陸上部のファンとして応援していますので、頑張ってください。

教育学部健康コース/中長距離/800m 2.16.28, 1500m 4.47.83



渡辺 雄馬

皆さん、お久しぶりです。平成 21 年度に卒業した渡辺雄馬です。私は現在、母校である私立水城高校に戻り、非常勤ですが保健体育の教員と陸上部男子長距離の副顧問として働いています。

卒業して以来、そんなに時間は経っていませんが、よく大学時代のことを思い出します。学生時代を前後期に分けると、これ以上ない努力をしていた前半と、これ以上ないくらい他人に迷惑をかけた恥ずべき後半があり、後半がダメすぎて思い出すと胸が少し痛みます。そんな人を教諭することができる側の人間ではない私も、自分のことを棚にあげながらも、私と同じような人間をつくらないように頑張っています。

さて、現役部員のみなさんへのメッセージですが、今、その瞬間を大切にしてほしいということです。高校生の部活を見ていると、その瞬間にしかない輝きや、その瞬間でしかできないことで溢れています。忘れがちですが、学生時代にもその瞬間が溢れているのだと思います。毎日を平凡な日々として繰り返すのではなく、地道な努力を繰り返し、辛くても熱くて素晴らしい毎日をつくりだしてほしいと思います。

最後になりますが、輝かしい瞬間を走り抜けている茨城大学陸上競技部の皆さんを陰ながら応援しています。卒業生のみんなおめでとう！

教育学部保健体育/中長距離/10000m 32.09, ハーフマラソン 1.09.27



こんにちは。卒業生のみなさん、卒業おめでとうございます。部員の皆さん、おひさしぶりです。卒業したのはつい1年前程なのに、ずっと前のような気がして信じられません。社会人になって1日のスピードがとっても速く感じるようになったからですかね。

私は現在、下妻市の小学校で非常勤 TT として働いています。主に算数や外国語活動の授業に TT として参加し、学習支援が必要な子どものサポートや教材作りを担当しています。毎日学ぶことがとても多く、すごく充実しています。でも、もちろんまだまだ失敗ばかりで、当たって砕けて当たって砕けての連続です。授業や子どもとのかかわりの中で上手くいかずにたくさんヘコんでいるのですが、それを支えてくれているのはやっぱり子どもたちで、つくづく面白いもんだなあ



と感じています。こんな毎日を過ごしつつ、学生のことを振り返ると、まず第一声は「戻りたい」！あんなにたくさん自分に費やせる時間、今ではもう嘘のようです。担任のない今でさえそう思うのですから、担任になったらどうなることやら…。つかの間の休みでも仕事をする時間の割合が増えて、どこかに行きたくても勉強をしたくても、なかなか時間がとれなくなります。だからこそ思うのは、学生の皆さんは、それぞれ残りの学生生活で、たっぷりある貴重な時間をとにかく大切に、自分のために使ってください。自分の興味のあることにどっぷり漬かってください。陸上でも、勉強でも、音楽でも映画でもなんでも、とにかく何かに夢中になってください。将来の自分のこやしになるはずです。私自身、そんなことを心がけながら学生生活を送ってきたつもりでしたが、それでももちろん、まだまだ物足りなさを感じます。知識だったり、経験だったり…。もっともっと、こやしを増やして味のある大人になりたいです。

ちなみに、私は幸運にも来年度に県内小学校に採用が決まっています！ということで、私も卒業生の皆さんと同じく、また新しいスタートラインに立ったばかりです。新しい環境では、楽しいことも、嬉しいことも、辛いことも、たーくさんあるでしょうが、たくさん泣いて、たくさん悩んで、こやしを更に増やせたらいいなと思っています。一緒に乗り越えていきましょうね。それでは最後になりましたが、皆さんの活躍を心より期待しています。

教育学部保健体育/短距離/100mH 16.87

Ⅶ. 記録集

茨大記録・男子

種目	氏名	記録(風速)	期日	大会名	会場
100m	杉崎 弘周	10.51(+1.9)	1989/9/11	日本インカレ	国立競技場
200m	杉崎 弘周	21.42(+2.0)	2001/9/2	新潟国体選考会	中条
400m	今村 明彦	48.06	1994/9/9	日本インカレ	国立競技場
800m	今井 英明	1.53.9	1990/4/7	学連競技会	筑波大
1500m	秋山 陽祐	3.56.42	2007/9/15	関東新人	国立競技場
3000m	秋山 陽祐	8.52.10	2009/4/12	県記録会	笠松
5000m	秋山 陽祐	14.52.16	2009/9/21	国公立 22 大学	千葉県総合
10000m	秋山 陽祐	30.35.03	2007/12/22	松戸記録会	松戸
10km	千葉 雅昭	31.2	1982/2/11	勝田マラソン	勝田
20km	渡辺 雄馬	63.29	2006/10/21	箱根駅伝予選会	昭和記念公園
30km	鈴木徳次郎	1.41.12	1974/2/17	青梅マラソン	青梅
ハーフマラソン	秋山 陽祐	1.09.27	2008/3/9	日本学生ハーフ	昭和記念公園
マラソン	秋山 陽祐	2.24.46	2008/1/27	勝田マラソン	ひたちなか
110mH	中山 勇作	15.30(-1.0)	2003/10/4	国公立 22 大学	長野
400mH	神尾 伸也	52.53	1994/8/23	関東選手権	笠松
3000mSC	岡崎 浩樹	9.07.37	2008/8/24	関東選手権	笠松
5000mW	小向 瑞樹	24.40.48	2009/9/21	国公立 22 大学	千葉県総合
10000mW	小向 瑞樹	52.33.55	2009/12/12	平成国際大学競技会	平成国際大学
4×100mR	成石・杉崎・ 大久保・佐藤	40.75	1996/9/6	日本インカレ	国立競技場
4×200mR	浅井・佐藤・ 大久保・神尾	1.27.38	1995/5/28	リレー選手権	笠松
スウェーデンR	浅井・佐藤・ 大久保・岡	1.57.44	1996/5/26	リレー選手権	笠松
4×400mR	開・上杉・ 山本・和田	3.14.60	2008/5/25	関東インカレ	国立競技場
4×800mR	中村・飯塚・ 林・神尾	7.54.72	1994/5/29	リレー選手権	笠松
4×1500mR	滝沢・根本・ 千葉・金沢	16.38.8	1981/4/18	リレー選手権	笠松
走高跳	青木 博光	2m00	1985/9/8	関東選手権	小瀬
棒高跳	岡山 進也	4m90	2001/5/26	リレー選手権	笠松
走幅跳	佐藤 良雄	7m09	1958/7/19	茨城選手権	土浦
三段跳	吉野 学	14m81(+1.6)	2005/5/13	関東インカレ	国立競技場
砲丸投	海老原大輔	15m02	2005/8/20	関東選手権	敷島
円盤投	渡辺 将司	39m93	2000/8/11	関甲信	敷島
やり投	渡辺 将司	66m94	2000/10/19	国公立 21 大学	小瀬
ハンマー投	海老原大輔	43m26	2002/9/22	北関東 5 大学	敷島
十種競技	渡辺 将司	6676 点	1999/7/17-18	栃木選手権	宇都宮

茨大記録・女子

種目	氏名	記録(年)	期日	大会名	会場
100m	柏 佑美	12.22(+1.9)	2001/9/2	国体予選会	笠松
200m	鈴木 麻理	25.45(+1.6)	2009/7/5	茨城県選手権	笠松
400m	土屋奈津子	57.03	2005/5/29	筑波大競技会	筑波大
800m	石澤ゆかり	2.12.88	2009/5/24	関東インカレ	国立競技場
1500m	野田 春香	4.33.51	2007/9/28	国公立 22 大学	緑が丘
3000m	野田 春香	9.55.39	2008/8/26	関甲信	熊谷
5000m	野田 春香	16.28.82	2008/7/13	ホクレンデ ^ィ スタンス	北海道
10000m	野田 春香	34.56.02	2008/6/28	茨城県選手権	笠松
100mH	石川ちひろ	14.07	1992/11/29	日本インカレ	日産スタジアム
400mH	石川ちひろ	61.34	2008/1/27	国公立 22 大学	国立競技場
4×100mR	石崎・生井・ 鈴木・森	48.34	2008/2/10	関東インカレ	国立競技場
4×400mR	鈴木(麻)・林田・ 森・石澤	3.56.97	2009/1/2	国公立 22 大	千葉県総合
4×800mR	深谷・飯嶋・ 小林・柴	9.42.31	1994/5/29	リレー選手権	笠松
走高跳	森 あゆ美	1m73	2008/8/26	関東甲信越	熊谷
棒高跳	長久保佳子	3m20	2001/6/29	茨城県選手権	笠松
走幅跳	吉原 友理	5m80	2009/7/4	茨城県選手権	笠松
三段跳	遠藤 園子	11m95	2009/10/31	北関東 5 大学	上尾
砲丸投	城所 舞	12m07	2009/5/2	日立記録会	日立
円盤投	梅原 由香	45m84	1997/8/23	国体予選	笠松
やり投	高村理恵子	41m76	2000/6/18	北関東 5 大学	水戸
やり投(旧規格)	栗原 明子	44m04	1954/5/1	アジア大会	マニラ
ハンマー投	弓削真理子	49m49	2009/10/31	北関東 5 大学	上尾
七種競技	斎藤 教子	3671 点	1984/6/23-24	茨城県選手権	笠松
10Km	野田 春香	34.16		勝田マラソン	ひたちなか
ハーフマラソン	野田 春香	1.15.58		守谷ハーフ	守谷

2009 年度ランキング

男子

種目	順位	氏名	記録
100m	1	和田 和幸	11.15
	2	山本 悠輔	11.18
	3	高藤 清人	11.47
200m	1	和田 和幸	21.88
	2	山本 悠輔	22.85
	3	松村 俊	23.46
400m	1	和田 和幸	49.69
	2	山本 悠輔	52.21
	3	鈴木 遼	53.41
800m	1	井川 勝彦	1.58.39
	2	河野 光由	1.59.79
	3	高野 和文	2.00.02
1500m	1	秋山 陽祐	3.57.01
	2	高野 和文	4.06.53
	3	小向 瑞樹	4.08.92
5000m	1	秋山 陽祐	14.52.16
	2	手倉森洋人	15.31.80
	3	富井 一仁	15.50.67
10000m	1	秋山 陽祐	31.02.63
	2	蓮田 大樹	33.31.45
	3	富井 一仁	33.50.74
110mH	1	後藤 雅彦	15.43
	2	上杉 明弘	15.90
	3	和田 和幸	17.51
400mH	1	上杉 明弘	53.74
	2	後藤 雅彦	60.16
	3	渡邊 学	62.53
3000mSC	1	手倉森洋人	9.36.96
	2	高野 和文	10.03.67
	3	和田 明久	10.14.05
4×100mR	1	後藤.和田.山本.上杉	41.66
	2	小河.鈴木.宗賀.松村	44.79
	3	青柳.渡邊.栗原.逆井	46.08
4×400mR	1	山本.上杉.河野.和田	3.21.44
	2	山本.和田.上杉.河野	3.22.49
	3	山本.上杉.和田.河野	3.23.00
走高跳	1	堀越 成志	1m65
	1	栗原 航介	1m65
	2	逆井 智也	1m60
棒高跳	1	青柳 達也	4m10
	2	栗原 航介	3m00
走幅跳	1	逆井 智也	6m77
	2	山本 悠輔	6m33
	3	渡邊 学	6m12
三段跳	1	逆井 智也	13m74
	2	渡邊 学	13m14
	3	栗原 航介	12m23
砲丸投	1	ホﾝ テ ウェン	11m66
円盤投	1	ホﾝ テ ウェン	37m27
やり投	1	ホﾝ テ ウェン	62m05
	2	山本 悠輔	41m51

女子

種目	順位	氏名	記録
100m	1	鈴木 麻理	12.57
	2	遠藤 園子	13.36
	3	吉原さゆり	13.74
200m	1	鈴木 麻理	25.45
	2	吉原さゆり	27.45
400m	1	鈴木 麻理	59.38
	2	吉原さゆり	63.42
	3	辻 はるか	65.14
800m	1	石澤ゆかり	2.12.88
	2	鶴見 彩	2.30.71
1500m	1	石澤ゆかり	4.36.76
	2	鶴見 彩	4.53.53
3000m	1	鶴見 彩	10.56.30
5000m	1	鶴見 彩	19.12.24
100mH	1	小島恵梨香	16.19
	2	吉原 友理	17.03
	3	辻 はるか	19.05
4×100mR	1	鈴木.遠藤.吉原(友).森	49.09
	2	吉原(友).林田.鈴木.森	49.33
	3	遠藤.林田.鈴木.森	49.37
4×400mR	1	鈴木.林田.森.石澤	3.56.97
	2	吉原(さ).鈴木.小島.林田	4.06.69
	3	吉原(さ).鈴木.林田.石澤	4.07.53
走高跳	1	森 あゆ美	1m70
	2	林田 麻由	1m65
走幅跳	1	吉原 友理	5m80
	2	森 あゆ美	5m65
	3	遠藤 園子	5m35
三段跳	1	遠藤 園子	11m95
	2	森 あゆ美	11m34
	3	吉原 友理	11m09
砲丸投	1	城所 舞	12m07
	2	弓削真理子	11m35
	3	二見有紀乃	9m62
円盤投	1	城所 舞	37m03
	2	二見有紀乃	34m73
	3	鈴木 香織	32m51
やり投	1	遠藤 園子	36m05
	2	鈴木 香織	30m34
	3	城所 舞	27m68
ハンマー投	1	弓削真理子	49m49
	2	二見有紀乃	47m50
	3	城所 舞	21m84
七種競技	1	遠藤 園子	3413 点

対校戦順位

順位	男子			女子		
	総合	トラック	フィールド	総合	トラック	フィールド
第58回関東甲信越大学体育大会(男子総合7位・女子総合4位)						
1	筑波大	筑波大	筑波大	筑波大	都留文科大	筑波大
2	横浜国立大	横浜国立大	群馬大	都留文科大	筑波大	茨城大
3	山梨大	山梨大	横浜国立大	横浜国立大	宇都宮大	横浜国立大
第24回国公立22大学対校陸上競技大会(男子総合12位・女子総合3位)						
1	横浜国立大	東京学芸大	新潟大	都留文科大	都留文科大	茨城大
2	東京学芸大	横浜国立大	横浜国立大	東京学芸大	東京学芸大	山形大
3	群馬大	静岡大	東北大	茨城大	横浜国立大	東京学芸大
第60回北関東5大学対校陸上競技大会(男子総合3位・女子総合1位)						
1	群馬大	群馬大	群馬大	茨城大	茨城大	茨城大
2	埼玉大	埼玉大	茨城大	宇都宮大	宇都宮大	宇都宮大
3	茨城大	茨城大	埼玉大	埼玉大	埼玉大	埼玉大
第8回国公立22大学対校駅伝大会(男子13位・女子7位)						
1	新潟大	-	-	新潟大	-	-
2	東京学芸大	-	-	千葉大	-	-
3	一橋大	-	-	東京学芸大	-	-
第9回荒川河川敷大学対校駅伝競走大会						
1	学習院大	-	-	千葉大	-	-
2	一橋大	-	-	防衛大学校	-	-
3	横浜国立大	-	-	上智大	-	-

Ⅷ. 部員名簿

学年	氏名	出身校/出身地	ブロック	学部/学科
院2	秋山 陽祐	磐城/福島	中長距離	理工院/機械
院2	佐藤 伸行	太田一/茨城	中長距離	理工院/都市システム
院2	高藤 清人	竹園/茨城	短距離	理工院/自然
4年	荒木 千尋	並木/茨城	跳躍	教育/健康
4年	井川 勝彦	大垣東/岐阜	中長距離	工/メディア
4年	小河 純	水戸桜ノ牧/茨城	短距離	教育/理科
4年	尾崎 友美	八王子東/東京	跳躍	工/生体子
4年	河野 光由	太田一/茨城	中長距離	工/電気電子
4年	鈴木 辰昇	山形南/山形	短距離	工/情報
4年	鈴木 晴香	浜松市立/静岡	マネージャ	教育/養護教諭
4年	鈴木 遼	鹿沼/栃木	短距離	教育/保健体育
4年	高野 和文	盛岡第三/岩手	中長距離	工/情報
4年	鶴見 彩	藤代/茨城	中長距離	教育/健康
4年	手倉森洋人	八戸西/青森	中長距離	工/生体子
4年	蓮田 大樹	藤代/茨城	中長距離	教育/保健体育
4年	早坂 菜央	宮城第二女/宮城	マネージャ	教育/健康
4年	二見有紀乃	真岡女子/栃木	投擲	教育/スポーツ
4年	森 あゆ美	茨城キリスト/茨城	跳躍	教育/保健体育
4年	山本 悠輔	下田北/静岡	短距離	教育/保健体育
4年	吉原さゆり	水戸桜ノ牧/茨城	短距離	教育/教育基礎
4年	涌井 遼平	茨城高専/茨城	中長距離	工/機械
3年	石澤ゆかり	鉾田一/茨城	中長距離	教育/社会文化
3年	上杉 明弘	水戸桜ノ牧/茨城	短距離	教育/スポーツ
3年	片岡 龍治	緑岡/茨城	中長距離	工/生体子
3年	後藤 雅彦	那須拓陽/栃木	短距離	教育/保健体育
3年	鈴木 麻理	水戸第三/茨城	短距離	教育/スポーツ

学年	氏名	出身校/出身地	ブロック	学部/学科
3年	生井 美有	聖徳/茨城	短距離	教育/スポーツ
3年	弓削真理子	佐原/千葉	投擲	教育/保健体育
3年	渡邊 学	郡山/福島	跳躍	教育/健康
3年	和田 明久	太田/群馬	中長距離	理/地球環境
3年	和田 和幸	木造/青森	短距離	理/数理
2年	秋庭 寛史	秋田中央/秋田	中長距離	農/資源生物
2年	遠藤 園子	利府/宮城	跳躍	教育/保健体育
2年	荻生めぐみ	呉羽/富山	マネージャ	教育/健康
2年	城所 舞	真岡女子/栃木	投擲	教育/保健体育
2年	小向 瑞樹	久慈/岩手	中長距離	人文/人コミ
2年	堀越 成志	茨城キリスト/茨城	跳躍	工/機械
2年	松村 俊	緑岡/茨城	短距離	工/電気電子
1年	青柳 達也	佐原/千葉	跳躍	理/物理
1年	浅川 瞭	伊奈/茨城	中長距離	人文/社会
1年	小島恵梨香	牛久/茨城	短距離	教育/健康
1年	久保 美春	松阪/三重	短距離	工/都市システム
1年	栗原 航介	石橋/栃木	跳躍	工/都市システム
1年	逆井 智也	春日部/埼玉	跳躍	教育/スポーツ
1年	鈴木 香織	水戸第二/茨城	投擲	教育/健康
1年	辻 はるか	高松第一/香川	投擲	教育/スポーツ
1年	富井 一仁	常葉菊川/静岡	中長距離	教育/社会
1年	南部 智彦	矢板東/栃木	短距離	人文/社会
1年	林田 麻由	鹿島/茨城	跳躍	教育/健康
1年	ホソ テ ウェン	龍ヶ崎第一/茨城	投擲	教育/スポーツ
1年	堀 千都	酒田東/山形	マネージャ	人文/人コミ
1年	吉原 友理	下妻第一/茨城	跳躍	教育/保健体育

編集後記

「Perspiration」第4号をお届けいたします。今回は発行が大幅に遅れましたことをお詫び申し上げます。また、印刷費用、および郵送料の負担を考え、冊子体としては発行せず、ウェブ上での公開といたしました。様々なご意見が
ありかと存じますが、ご理解の程、よろしくお願い申し上げます。

OB名簿を整理していると、創部からこれまでに500名余の卒業生を送り出し、茨城大学陸上競技部の魂が50年間、途切れることなく脈々と受け継がれていることに気づかされます。これからも伝統を受け継ぎつつ、部員全員で
新たな高みへと挑戦していきたいと思っております。今後ともご指導、ご支援の程よろしくお願い申し上げます。

(上地 勝)

茨城大学陸上競技部に関するお問い合わせ

陸上競技部に関するご意見・ご質問は、ホームページ内の掲示板、もしくは、顧問の上地までよろしくお願いいたします。皆様からの情報をお待ちしております。

ホームページ URL

<http://18.pro.tok2.com/~ibadaitandfclub/>

顧問 上地 勝

〒310-8512 水戸市文京2-1-1

茨城大学教育学部

Tel: 029-228-8477 (研究室)

Fax: 029-228-8478 (体育事務室)

e-mail: mueji@mx.ibaraki.ac.jp

茨苑 AC に関するお問い合わせ

〒310-0852 水戸市笠原町979-16

Tel: 029-244-1036

益子 雄行

茨城大学陸上競技部部誌「Perspiration」第4号

平成22年4月1日発行

編集責任者

遠藤 園子

発行者 茨城大学陸上競技部